

保健福祉アンケート集計結果報告書

I. アンケート調査の概要

1. アンケートの作成

平成 20 年度に実施された高齢者アンケートの結果と比較可能な調査を基本とし、これらの項目に加えて

健康福祉部から福祉サービスの周知に関する質問

笹川アンケートの質問

認知機能に関する質問

うつ状態に関する質問

を加えて作成した。

2. アンケートの発送、回収方法

対象：留萌市住民のうち、平成 23 年 8 月 1 日現在で 65 歳以上の方

抽出方法：無作為抽出

総数 3000 名を無作為抽出するために、3000 名を各町内の 65 歳以上の人口の割合により振り分け、各町内人口よりそれぞれの町内に振り分けられた人数を無作為抽出した。

そのため、要介護認定を受けておられる方も調査対象となっている。

調査期間：平成 23 年 10 月 1 日より 10 月 22 日までとした。実際には 10 月 31 日分までを受付、解析対象とした。

調査方法：郵送により発送、回答者による郵便投函にて回収した。

3. 回収率など

3000 通発送、有効回答数 1,616 通（返信率 53.9%）であった。またあて先不明で戻ってきたものが 21 通あった。これらのアンケート原簿はすべて健康の駅に保存してある。

町内別の返信数、配布数、回収率は、以下のとおりである。

町内	返信数	配布数	回収率%
明元町	27	45	60.0
旭町	52	95	54.7
五十嵐町	69	131	52.7
泉町	18	32	56.3
大町	61	132	46.2
大和田	23	51	45.1
沖見町	186	360	51.7
開運町	52	103	50.5
春日町	34	78	43.6
寿町	32	52	61.5
幸町	36	56	64.3

栄町	32	64	50.0
三泊町	16	31	51.6
塩見町	8	19	42.1
東雲町	40	66	60.6
未広町	40	83	48.2
住之江町	47	79	59.5
瀬越町	10	29	34.5
高砂町	26	45	57.8
樽真布町	2	3	66.7
千鳥町	78	127	61.4
潮静	48	92	52.2
峠下町	4	4	100.0
錦町	50	87	57.5
野本町	32	68	47.1
花園町	35	69	50.7
浜中町	10	25	40.0
藤山町	10	33	30.3
船場町	0	0	-
平和台	16	27	59.3
堀川町	27	50	54.0
幌糠町	21	42	50.0
本町	24	58	41.4
緑が丘町	16	29	55.2
港町	37	66	56.1
南町	97	173	56.1
見晴町	131	245	53.5
宮園町	61	98	62.2
元川町	13	18	72.2
元町	61	103	59.2
礼受町	15	32	46.9
その他	3		
無回答	17		

その他：1名は旭川市、1名は札幌篠路萌、1名は増毛町阿分と記入されていた。

無回答：町名部分未記入の方の内訳は、16名は萌寿園、1名は死亡でした。

II. アンケート集計の概要

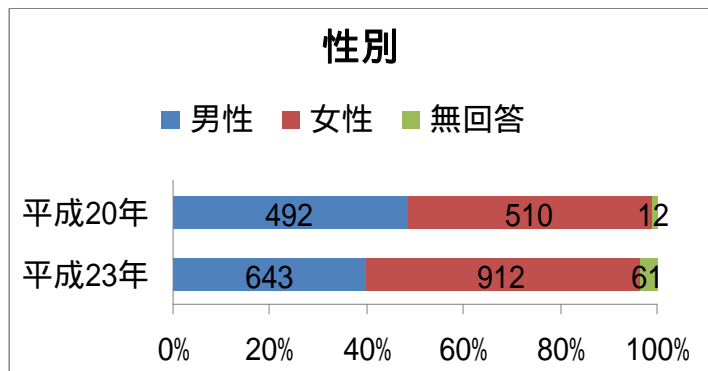
できるだけ平成 20 年度の解答と比較することを目指して集計しました。しかし、一部の解答に関しては、平成 20 年度の質問と異なる様式にならざるを得ないものがあります。

説明文中の前回とは平成 20 年のアンケート調査を、今回とは平成 23 年のアンケート調査をさします。重複をさけるため、「前回」と「今回」と記載した部分もあります。

1. ご自身・家族について

* 性別

65 歳以上の男女人口（平成 23 年 8 月時点）は、男性 2833 人、女性 4065 人、男女の比率は男性を 1 とすると 1:1.44 です。今回のアンケートの回答者の男女の比率は 1:1.42 となっており、人口に占める割合に大変近い値になっています。



* 年齢

留萌市の 65 歳からの年齢別人口と 65 歳以上での各年齢が占める割合は、

65～69 歳：	1785 人	25.9%
70～74 歳：	1745 人	25.3%
75～79 歳：	1472 人	21.3%
80～84 歳：	1011 人	14.7%
85 歳以上：	885 人	12.8%

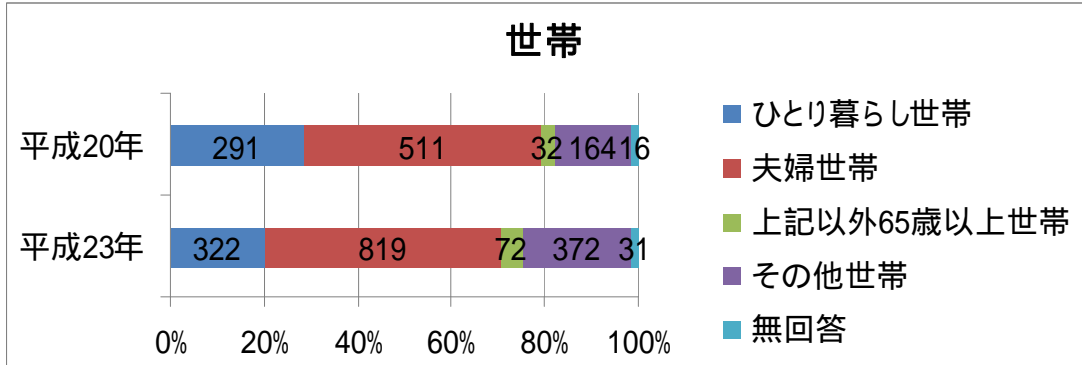
となっています。今回の調査での各年齢に占める割合は、

65～69 歳：	24.8%
70～74 歳：	24.3%
75～79 歳：	23.3%
80～84 歳：	15.5%
85 歳以上：	10.5%

と人口構成割合と大変よく相関しています。このことから、無作為抽出によりターゲット人口の意見を代表する可能性の高い回答が得られたことが期待されます。

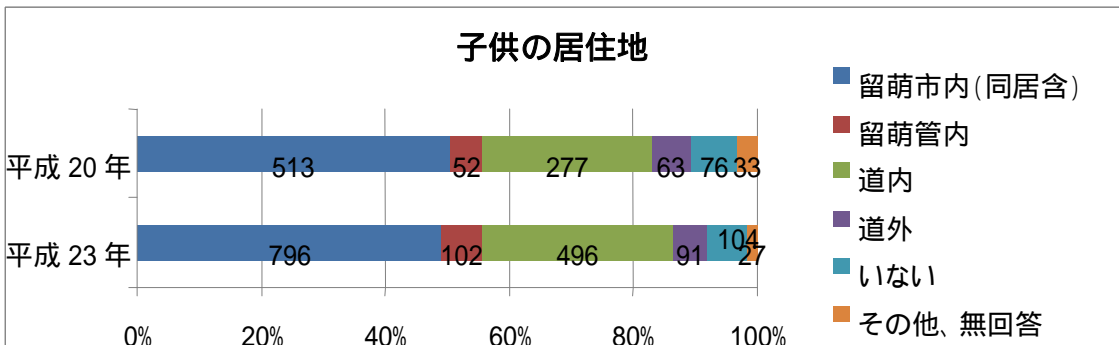
* 世帯別のくらしの状況

「ひとり暮らし」の方は、今回のアンケートでは 19.9%とでした。これを留萌市の 65 歳以上の全人口に反映させますと約 1373 人のひとり暮らしの方がいることが推定されます。住民基本台帳からの推定では約 2000 名です。実態の把握が重要です。



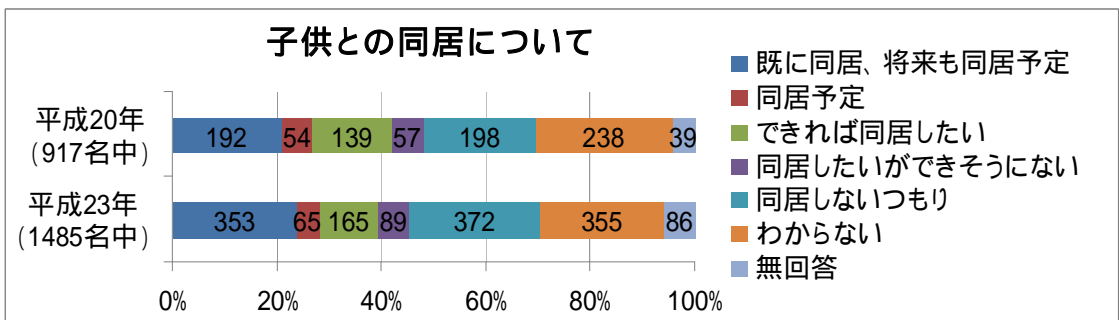
* 子供の居住地

こちらは、平成 20 年の調査とほとんど変わらない値でした。「留萌市内（同居を含む）」がおよそ 50%の割合でした。



* 子供との同居

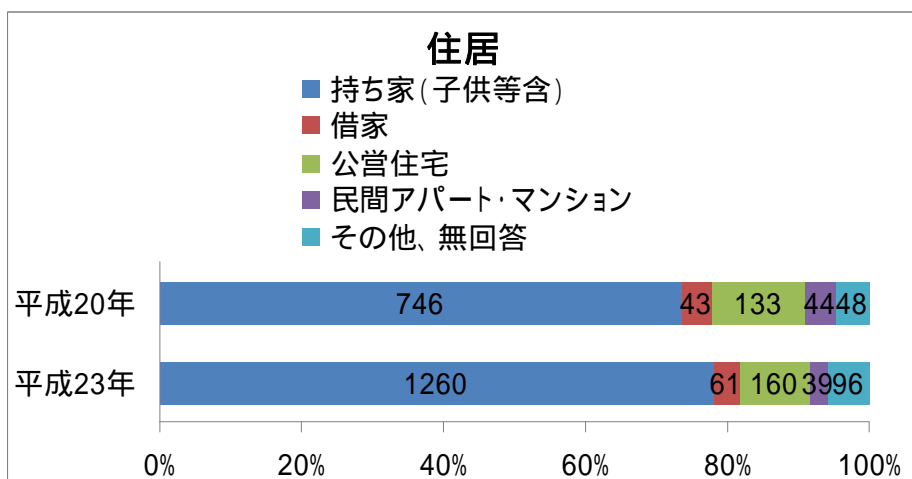
すでに同居している方が増加し、同居したい方の割合が減少しています。また、同居しないつもりが 21.6%から 25.1%に増えています。



2. 住まいについて

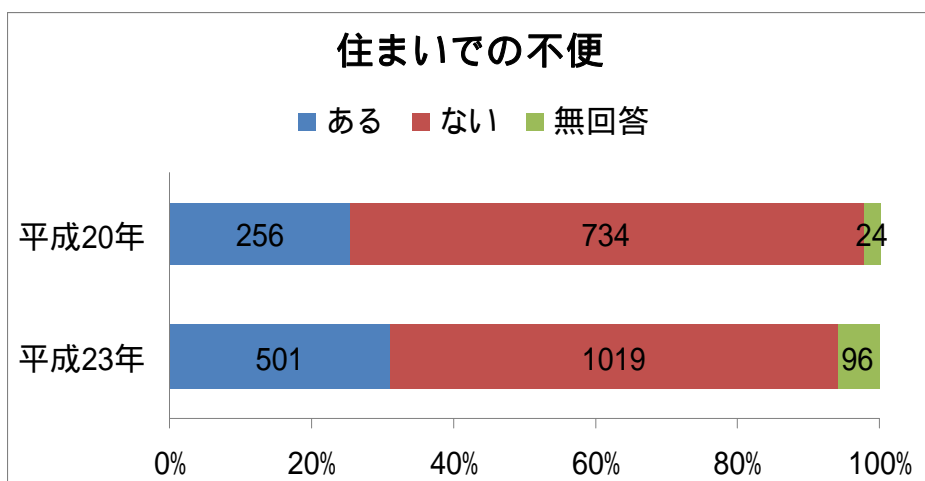
* 生活場所

回答者ご自身または子供らの持ち家が7割強を占めています。

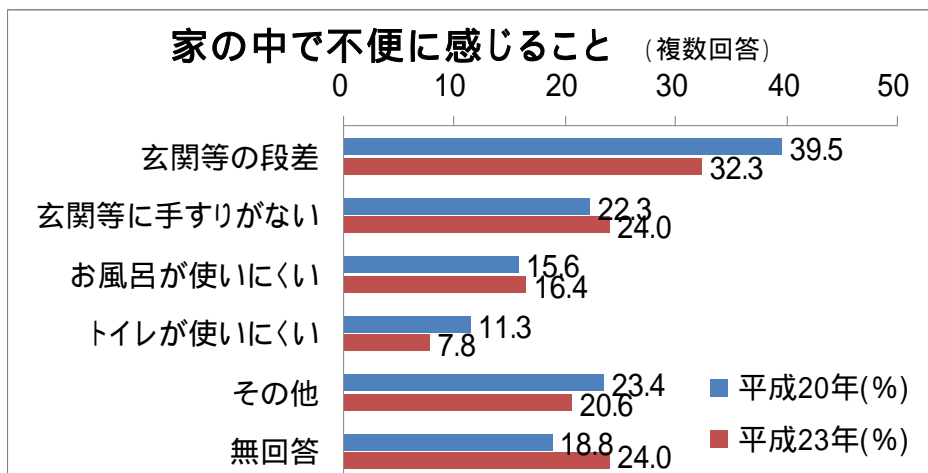


* 住まいでの不便

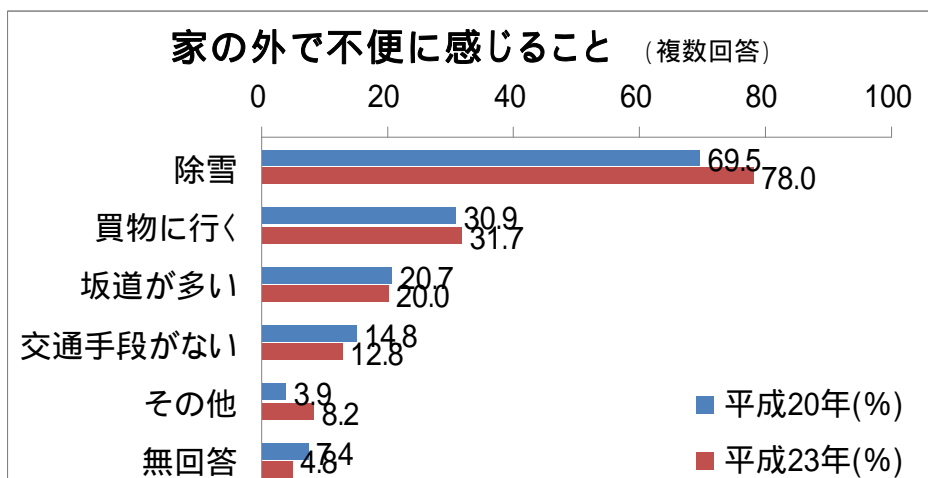
住まいでの不便があると回答した方は、平成20年では25.2%でした。今回のアンケートでは30%に上りました。



家の中での不便に感じることは、前回（平成 20 年）と同様、頻度順に、「玄関等の段差」「手すりがない」「お風呂」「トイレ」でした。



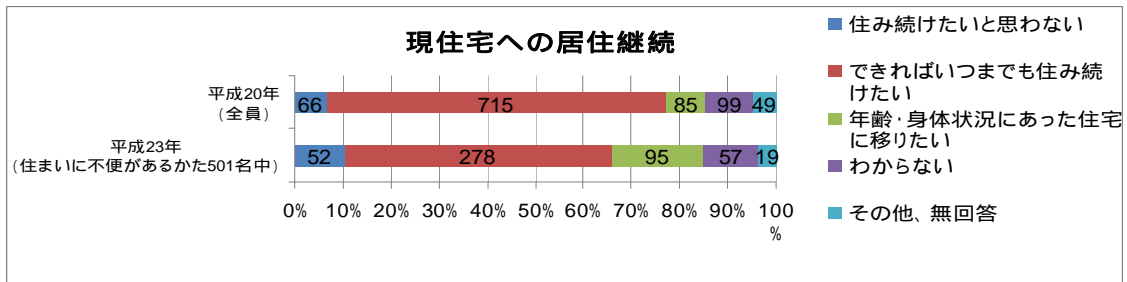
家の外で不便に感じることは、前回（平成 20 年）と同様、「除雪」「買い物に行く」「坂道が多い」「交通手段がない」の順でした。



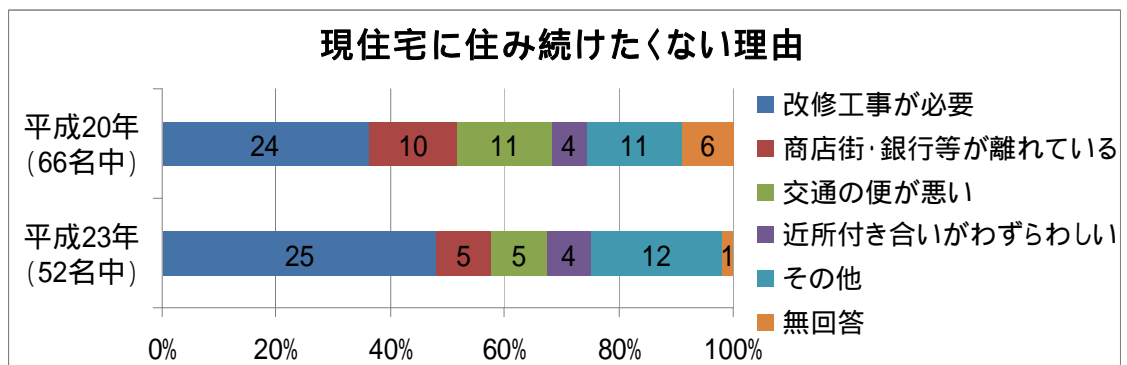
これら、家の内外の不便さは前回（20 年度）と同様の結果でした。

* 現在の住宅への居住継続について

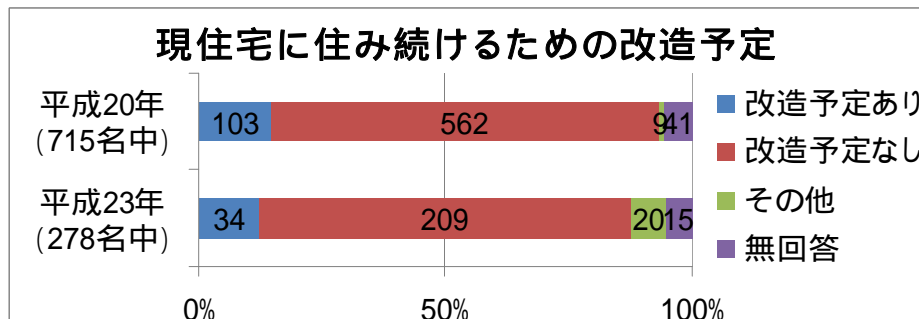
現在の住宅に住み続けることへの意向に対する質問では、「できればいつまでも住み続けたい」の回答が減少（70.5% 55.5%）し、「年齢・身体状況にあった住宅に移りたい」が増加（8.4% 19.0%）しました。（平成20年度割合 平成23年度割合）



なぜ、現在の住宅に住み続けたくないかの問いに対しては、「改修工事が必要」は前回より12ポイント上昇しました。一方、「商店街・銀行などが遠い」、「交通の便が悪い」は減少しました。

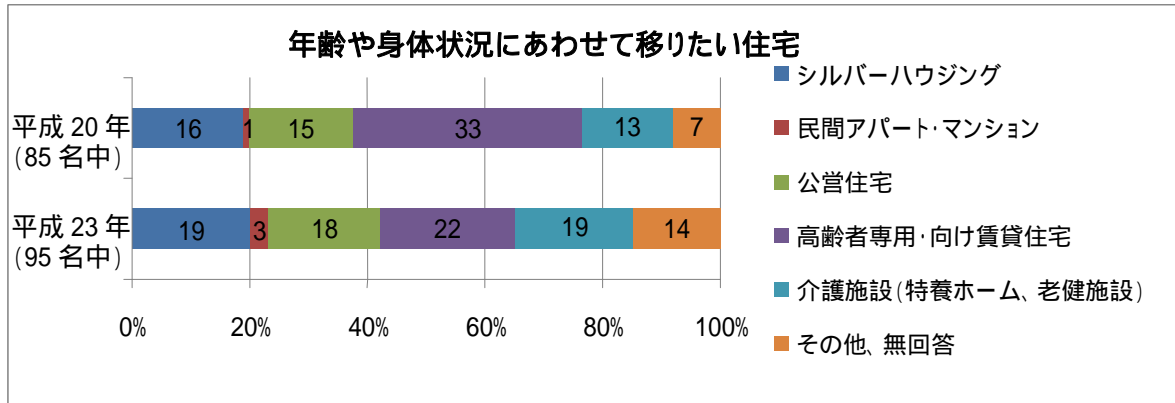


住み続けるため、今の住宅を改造する予定・必要については前回と同様、「改造予定あり」約12%、「予定なし」が約75%でした。



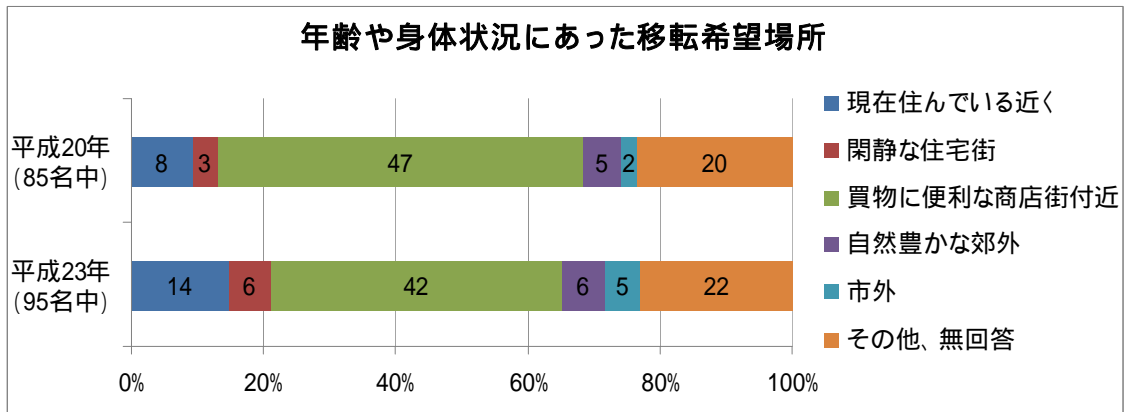
* 年齢や身体にあわせて移りたい住宅の種類

「高齢者専用・向け賃貸住宅」、「シルバーハウジング」、「介護施設(特養ホーム、老健施設)」、「公営住宅」の順に回答が多い傾向にありました。この傾向は、平成20年と同様です。



* 移りたい住宅の移転場所

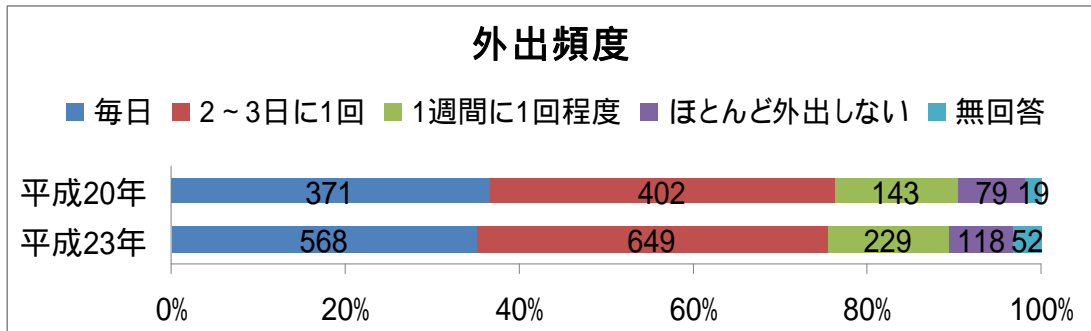
買い物の便利さが他を引き離して1番の希望です。次に現在の住宅の近くでした。



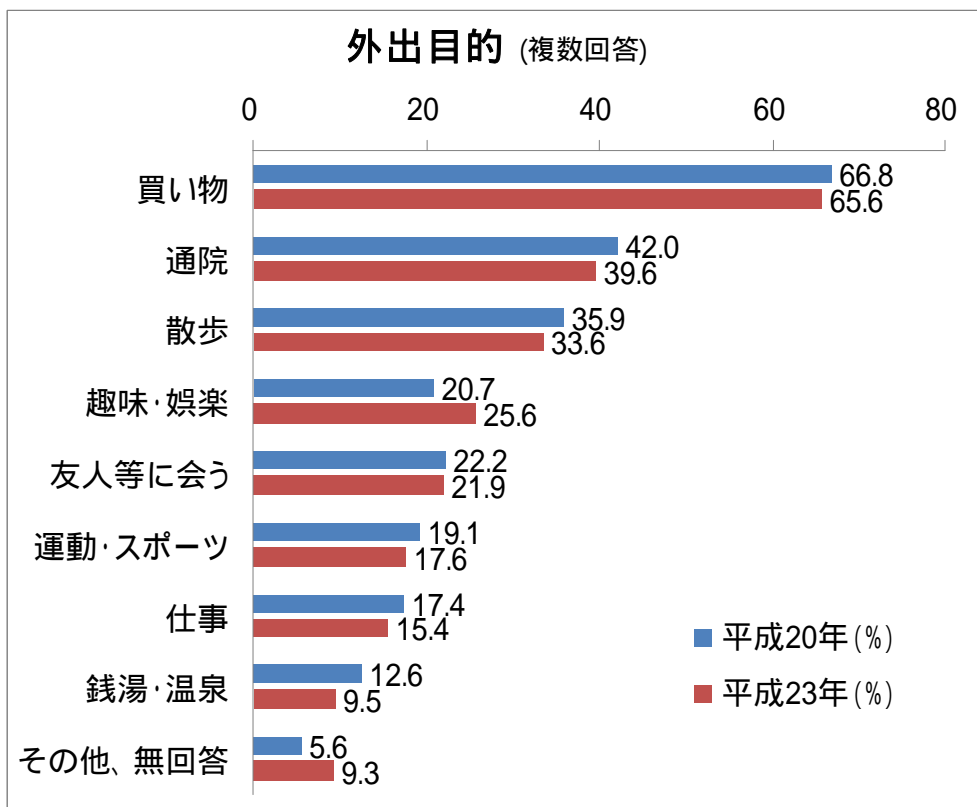
3. 日常生活について

* 外出の頻度

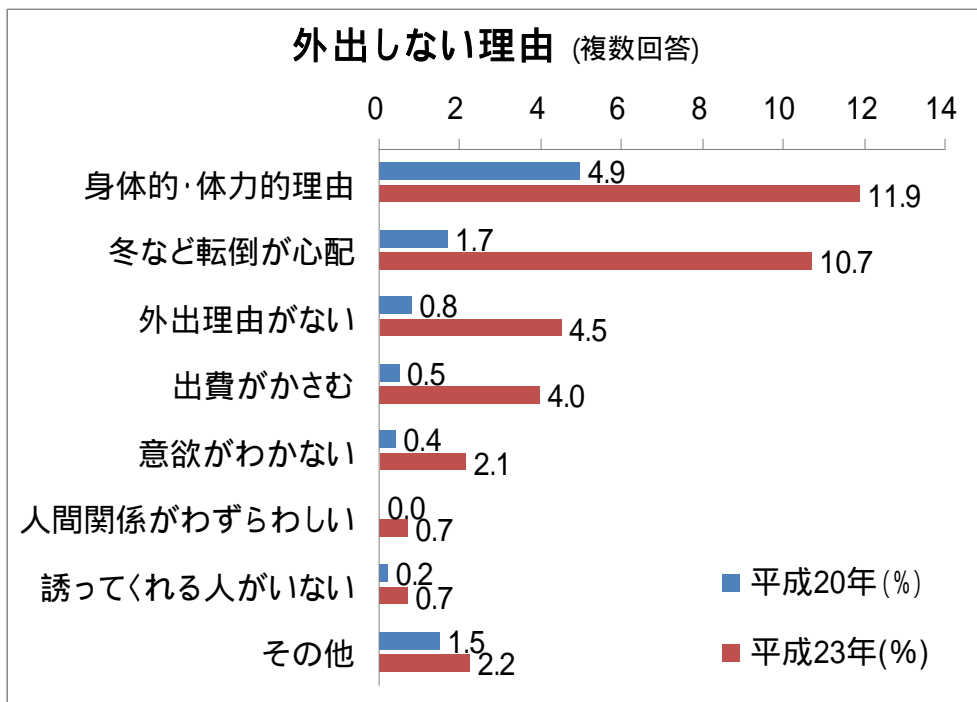
前年も今回も 9 割の方が 1 週間に一度以上外出しています。



その目的は「買い物」がほぼ 7 割を占めます。その他、「通院」が第 2 位、「散歩」が第 3 位に続きます。

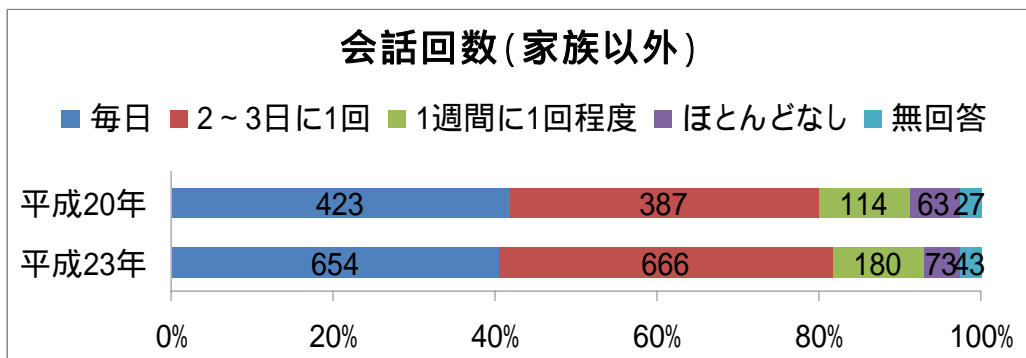


外出をしない理由としては、外出をしない方は、全体の 1 割以下と割合は小さいです。その方々の外出をしない理由では、「身体的・体力的な理由」がもっとも多く、およそ 1 割を占めます。また、「冬など転倒が心配」、「外出理由がない」という回答も見られました。



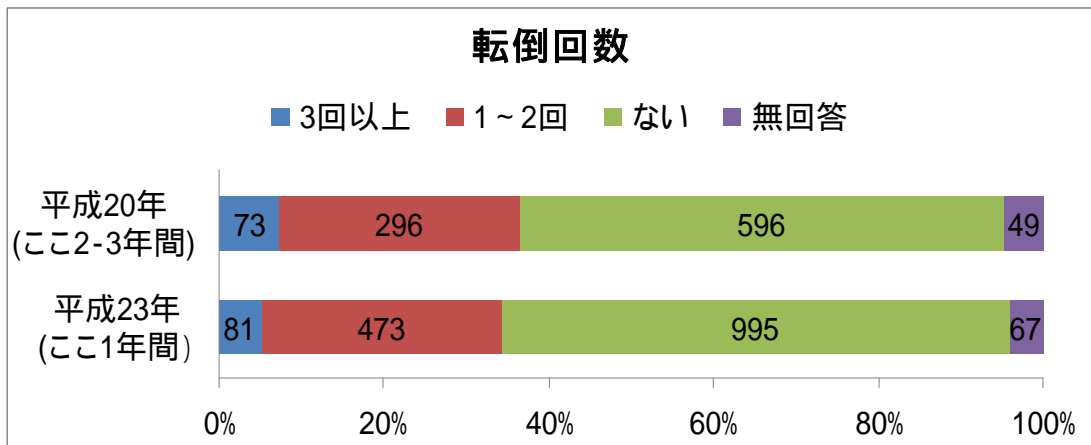
*** 会話の回数**

家族以外の方と、約 9 割の方が会話の機会を少なくとも 1 週間に一度以上お持ちです。一方で、会話がほとんど無いとの回答が前回の調査で 6.2%、今回の調査でも 4.5%ありました。

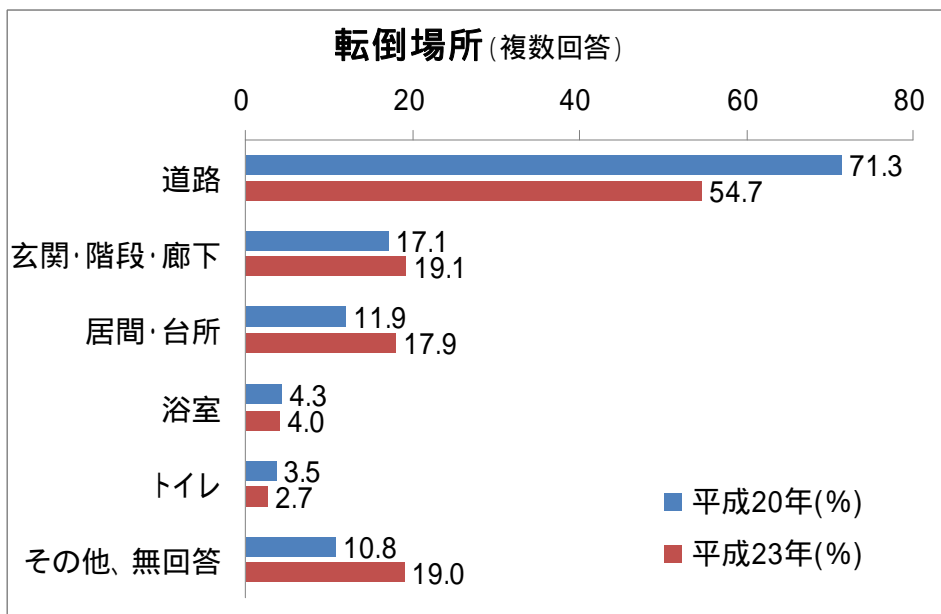


* 転倒回数・転倒場所について

今回の調査では、過去1年での転倒回数をお尋ねしました。「3回以上」とお答えの方が、前回は7.2%、今回も5.0%いらっしゃいました。また、1回以上転倒した方は、34.3%と転倒経験が頻発しています。

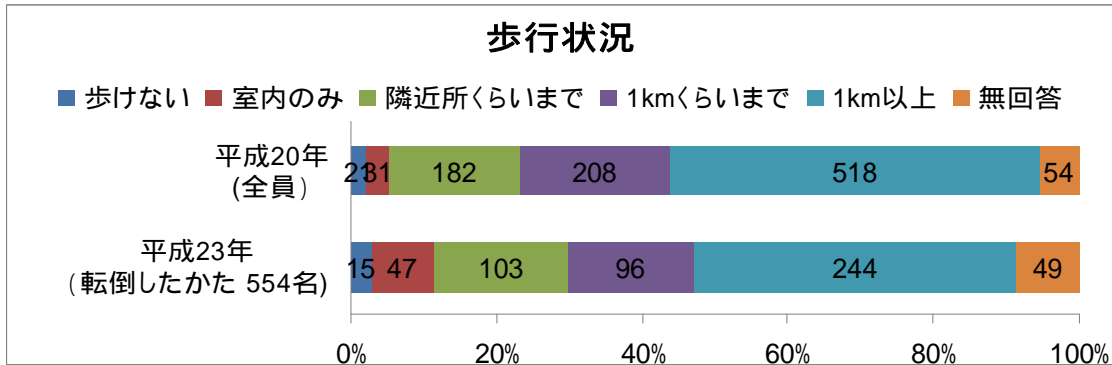


転倒場所は、「道路」が前回同様もっとも多くを占めています。続いて「玄関・階段・廊下」「居間・台所」「トイレ」「浴室」となっています。



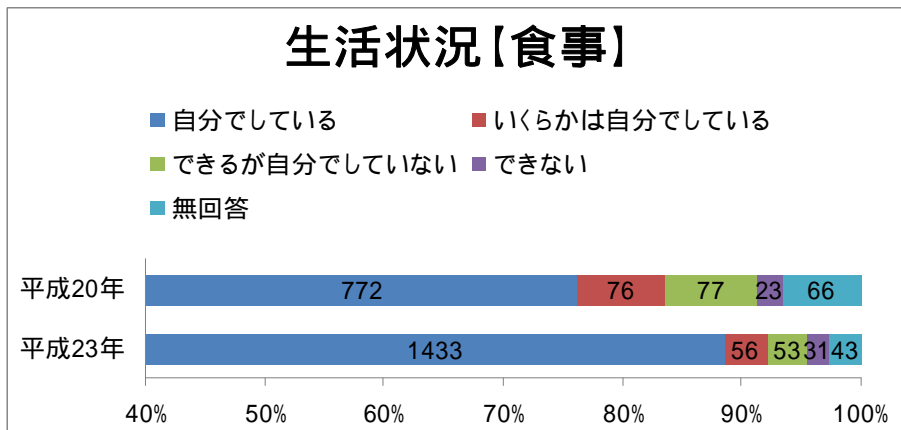
* 歩行状況

一人で歩ける距離は「1 km以上」の方は半数近くに上りますが、一方で「室内のみ」の方は前回調査では 3.1%でしたが、今回は 8.5%と増加しています。

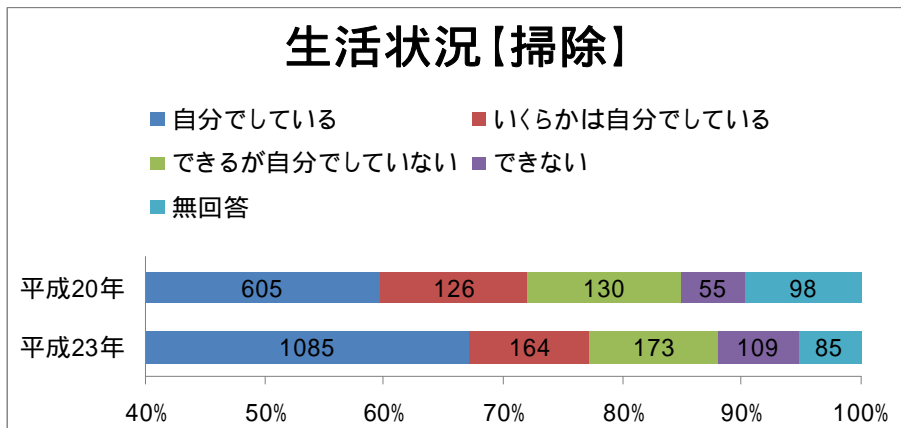


* 生活状況について

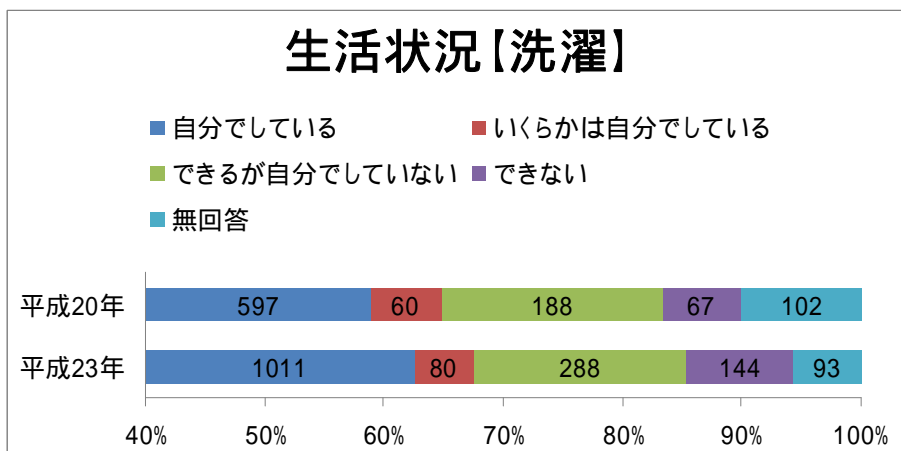
食事：「できない」と回答された方が前回同様 2%前後います。



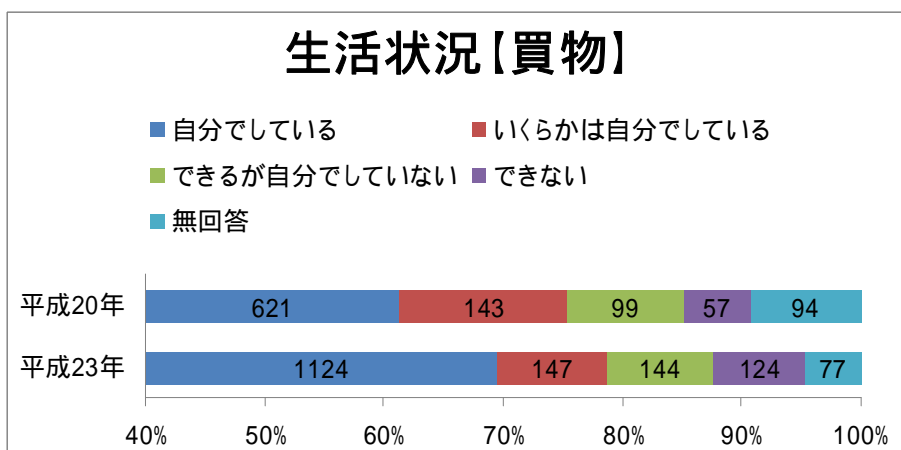
掃除：6割強の方が自分で行っています。一方「できない」との回答が6%程度みられます。この割合は前回と同様です。



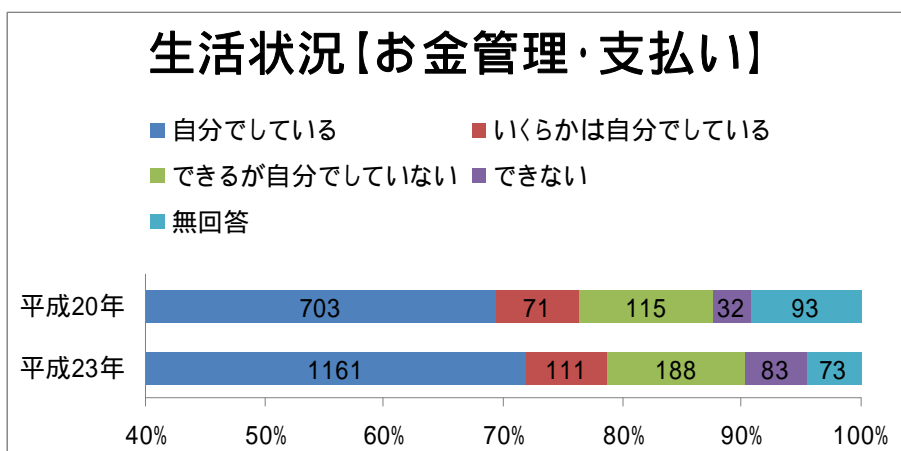
洗濯：6割の方は、自分で行っています。しかし、「できない」という回答も8.9%あり、これは前回より2ポイント以上増加しています。



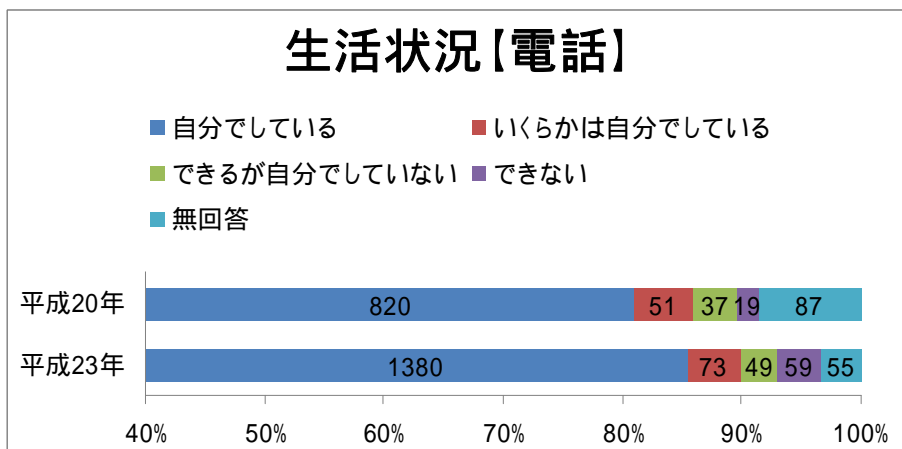
買い物：6から7割の方が自分で行っています。一方7.7%が「できない」と答えています。前回より2ポイント上昇しています。



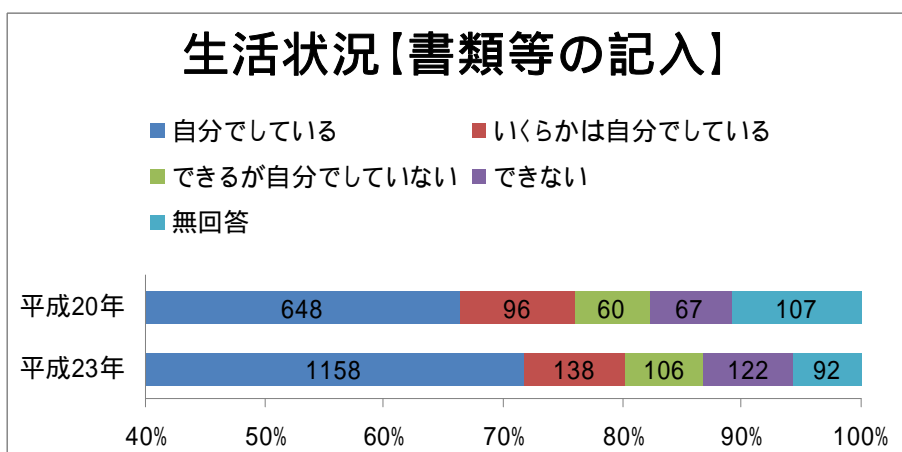
お金の管理と支払い：ほぼ7割の方が自分で行っています。前回と同様の結果です。



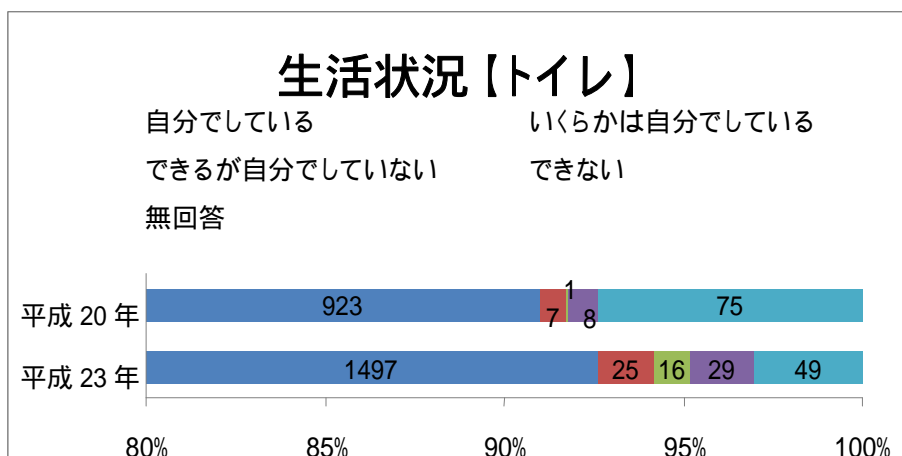
電話：「できない」という回答が今回は3.7%と前回(1.9%)から、ほぼ倍になっています。



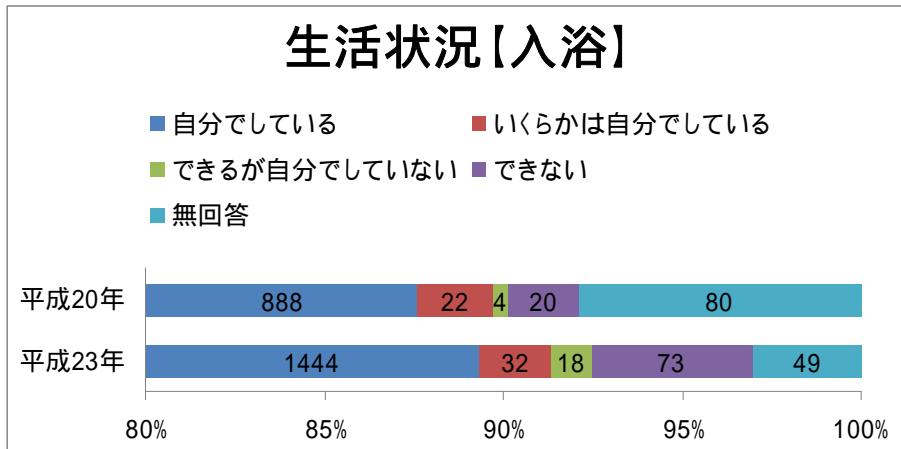
書類等の記入など：約7割の方が自分で行っています。



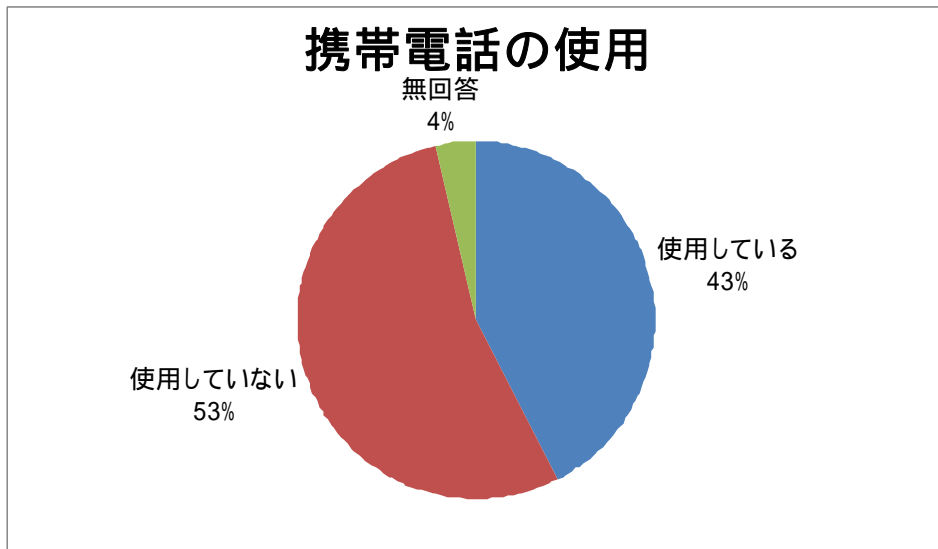
トイレ：前回の調査では、「できない」という回答は8件(0.8%)でしたが、今回は29件(1.8%)になりました。対面調査と郵送調査の違いかもしれません。



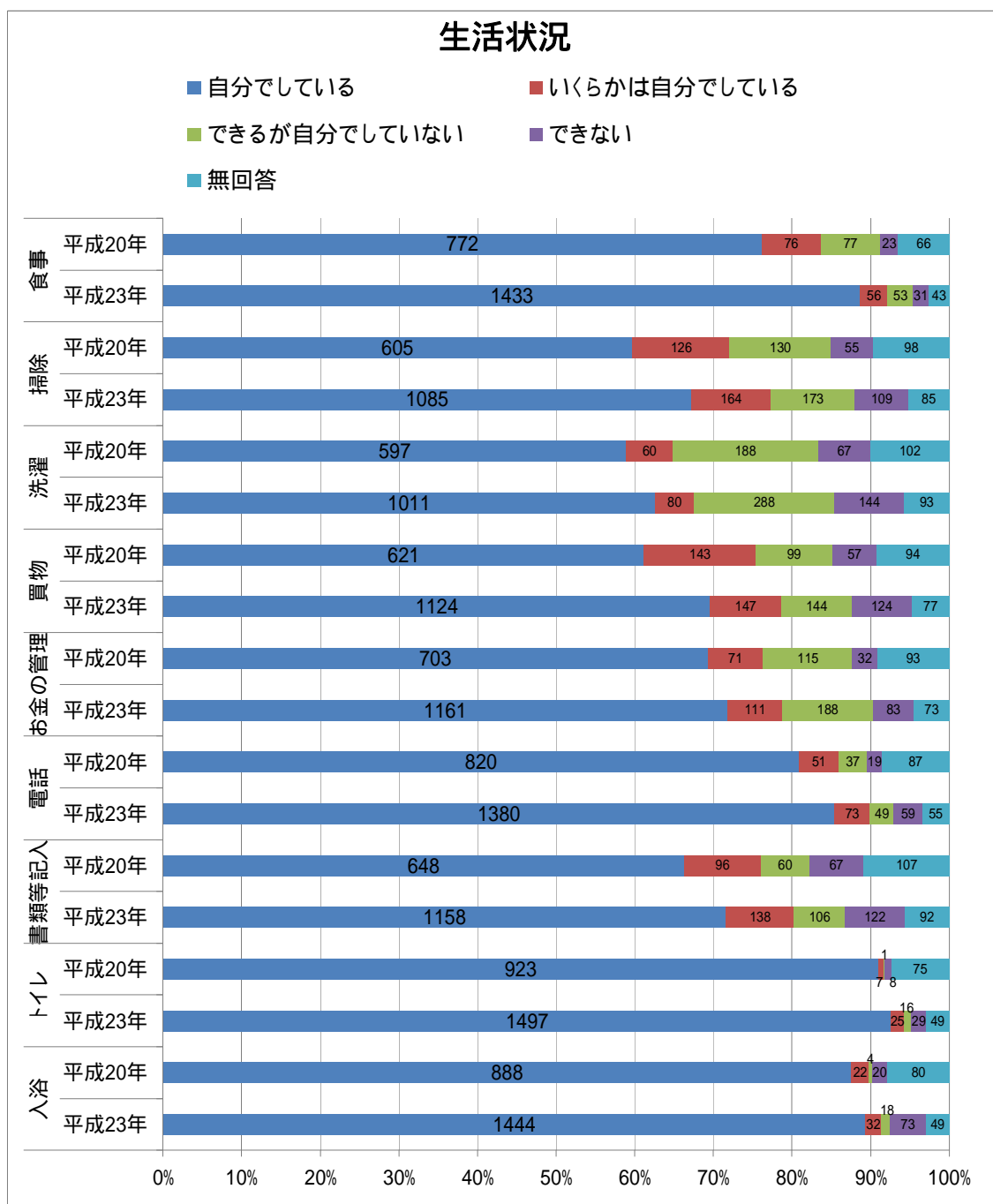
入浴：トイレと同様の傾向が見られます。



携帯電話の使用：4割強の方が使用しているとの回答でした。

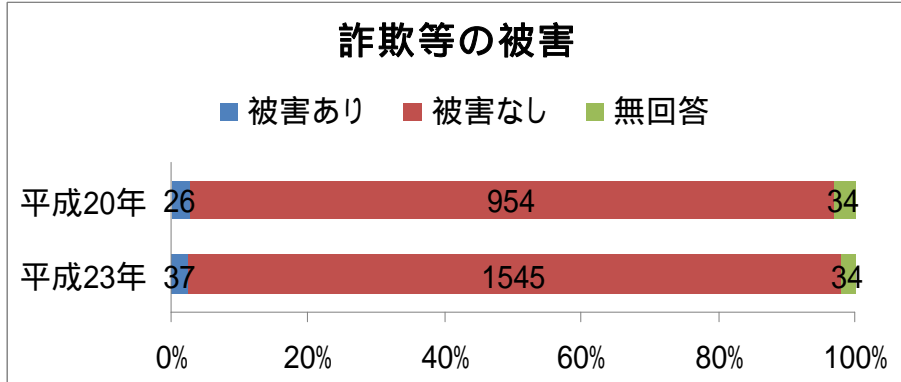


生活状況に関して平成 20 年と 23 年の調査を並べて示します。変化した項目などを比較してみてください。



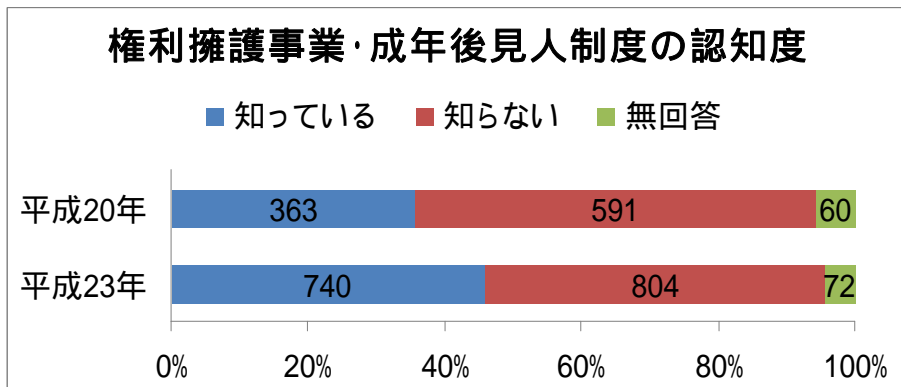
* 詐欺等の被害

詐欺の被害にあわれたとの回答は、前回と同様 2%前後に上ります。



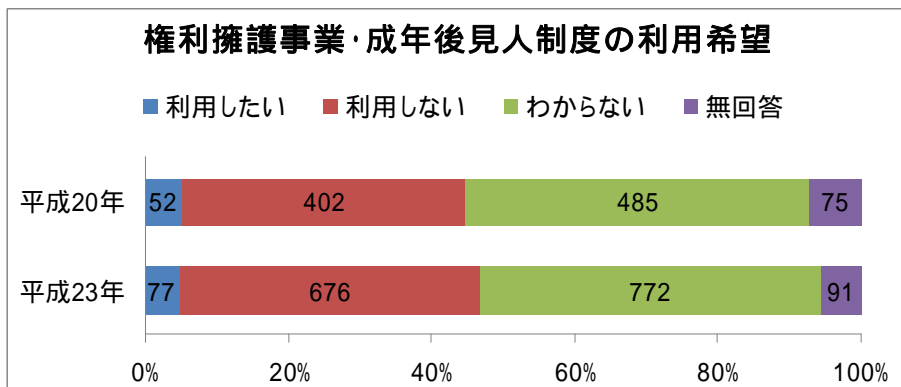
* 権利擁護事業・成年後見人制度の認知度

平成 20 年の調査では、「知っている」という回答は 35.8%でしたが、今回の結果では 45.8%と大幅な認知度の上昇が見られました。



* 権利擁護事業・成年後見人制度の利用の希望

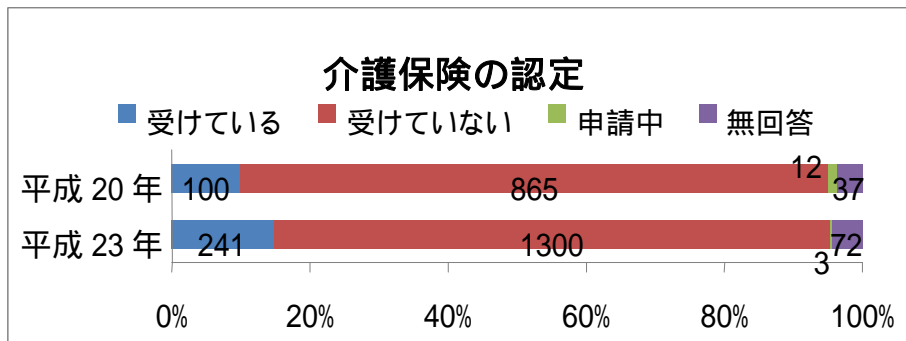
認知度は、上昇しましたが利用希望は前回とほぼ同様でした。



4. 介護保険について

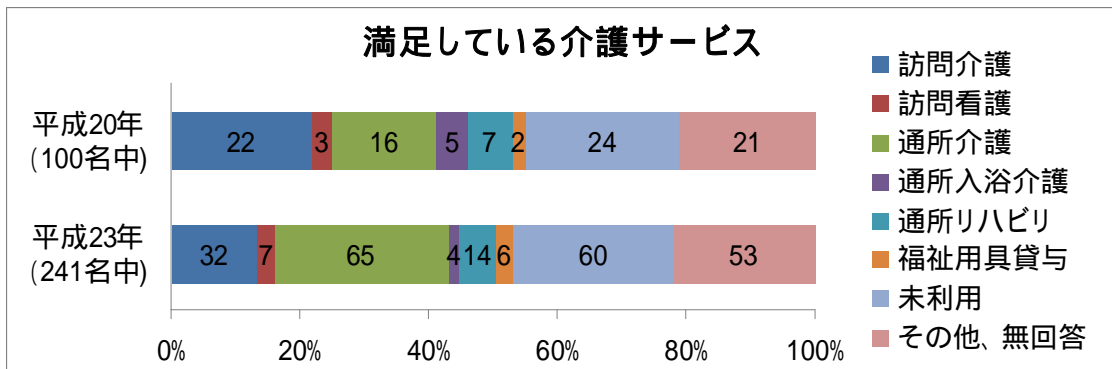
* 介護保険認定について

前回の調査では、認定を「受けている」方は 9.9%でした。今回の調査では、14.9%と大きな増加が見られました。

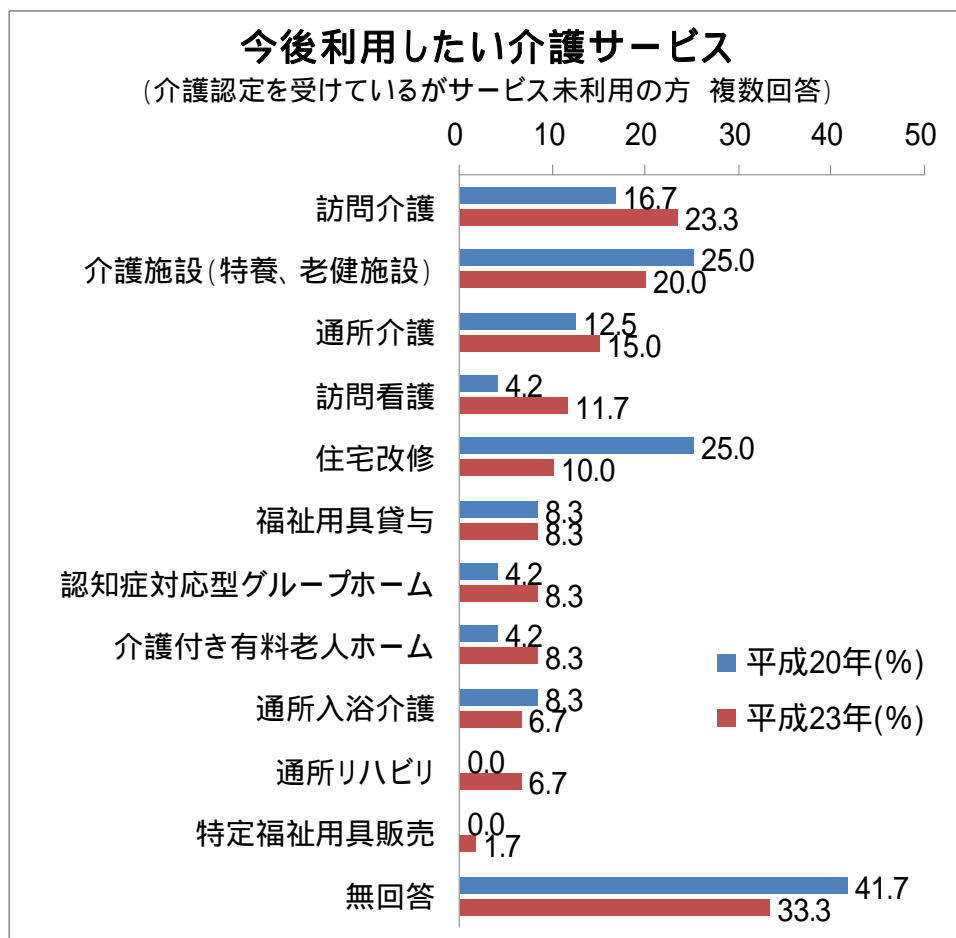


* 満足している介護サービス

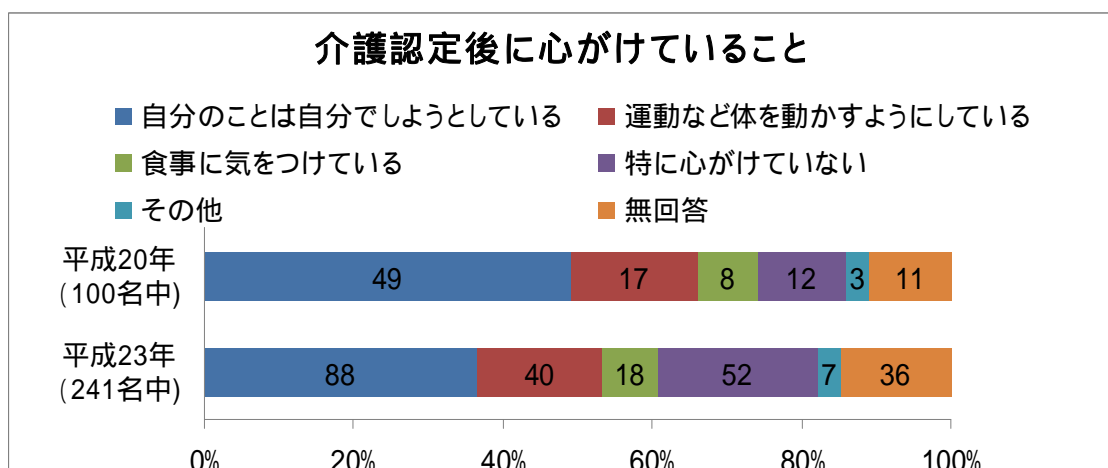
受けている介護サービスの中で、満足度の高いサービスは 20 年では「訪問介護」でしたが、今回の調査では「通所介護」が 1 番になりました。



* 介護認定を受けている方で、今後受けてみたいサービスの希望について
 前回は、「住宅改修」が1番でした。今回の調査では、「訪問介護」「通所介護」などが増加
 しています。また、施設の希望も引き続き多い傾向です。

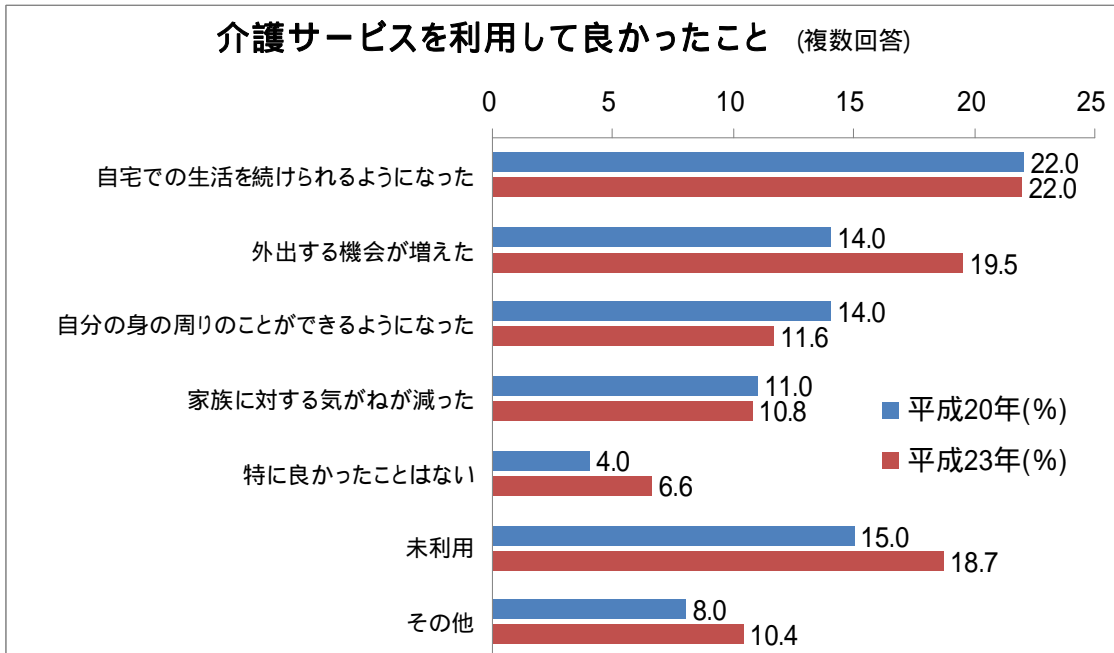


* 介護認定後に心がけていること
 介護認定後に、多くの方が「自分のことは自分でしよう」と考えておられます。また食事
 や運動への配慮も多いようです。



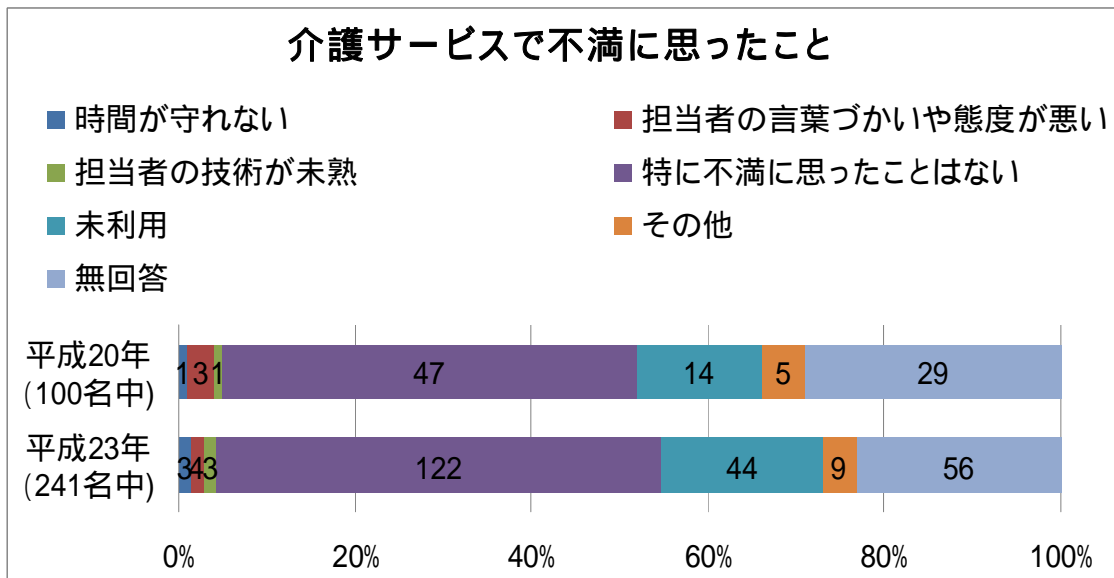
* 介護サービスを利用して良かったこと

一番多いのは、「自宅での生活を続けられるようになった」ことでした。3番目は「自分の身の周りのことができるようになった」、4番目は「家族に対する気がねが減った」でした。これらは前回の調査と大きく変わりません。一方、「外出機会が増えた」という回答が増加し、今回の調査では2番目にあがっています。通所介護施設などへの外出が想定されます。



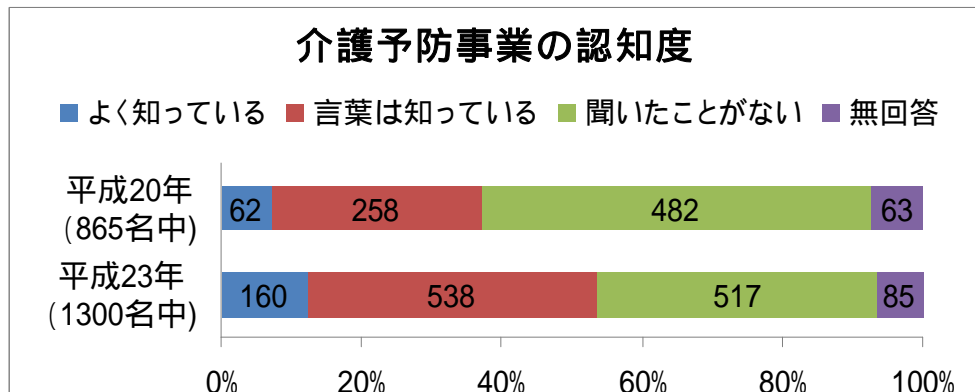
* 介護サービスで不満に思ったこと

未利用が前回よりもさらに増加し前回の 14.0%から今回は 18.3%になりました。

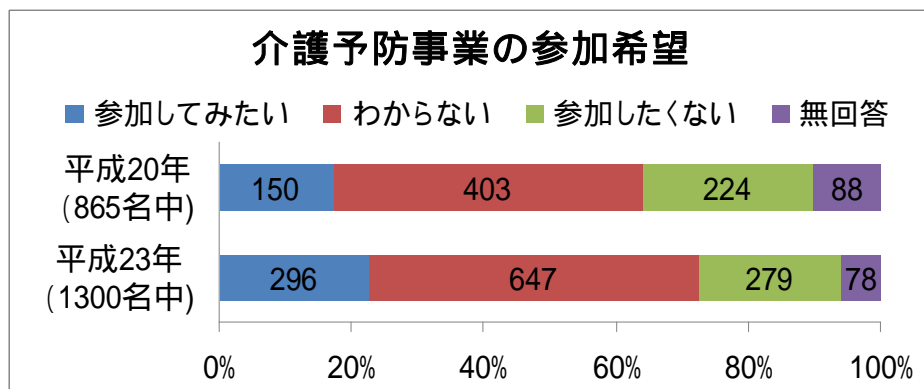


* 介護予防事業の認知度

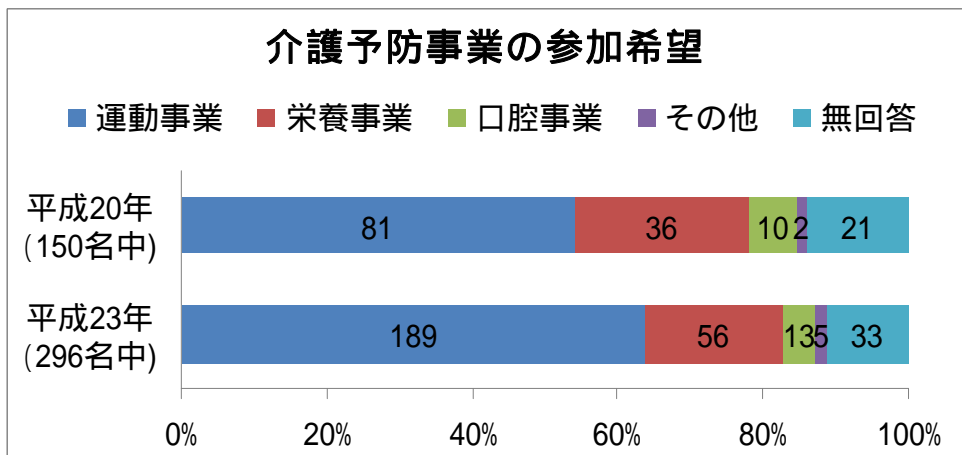
介護予防事業（ピンピンからだ塾、ピンピンからだ広場、ピンピンからだ教室、健口教室、はつらつ栄養講座）を「よく知っている」と答えた方は、前回の7.2%から12.3%と増加しています。一方で「聞いたことがない」方は、前回の55.7%から39.8%と減少していますが、認知度をさらに高める必要があります。



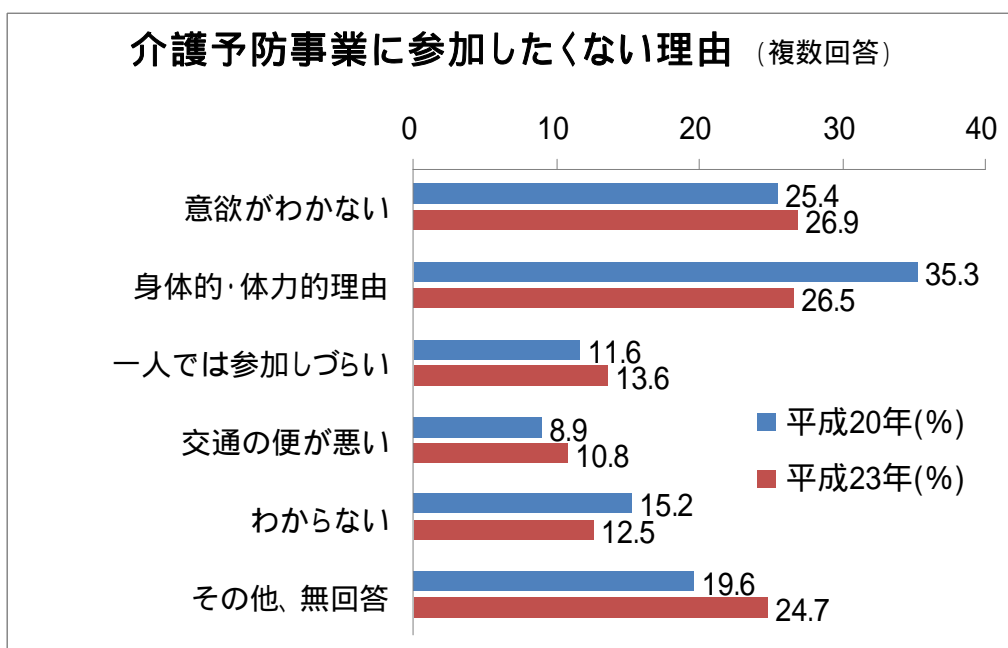
介護予防事業への参加希望では、「参加してみたい」方が5ポイント前回より増加した一方で、「わからない」と答えた方が、前回は46.6%、今回は49.8%と高い割合です。



介護予防事業の種類別希望を見ると、「運動事業」が63.9%と前回同様トップでした。

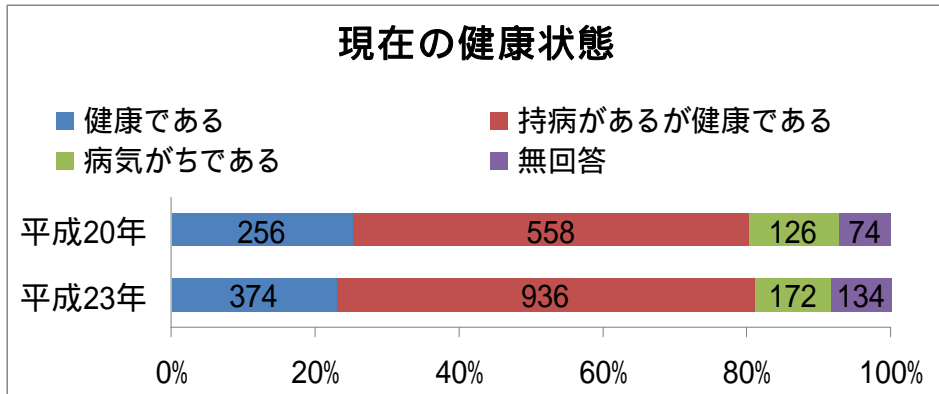


介護予防事業に参加したくない理由をお尋ねすると「意欲がわからない」が前回同様トップで4分の1の方の回答でした。つづいて「身体的・体力的理由」でした。また「一人では参加しづらい」という回答も10%以上見られました。

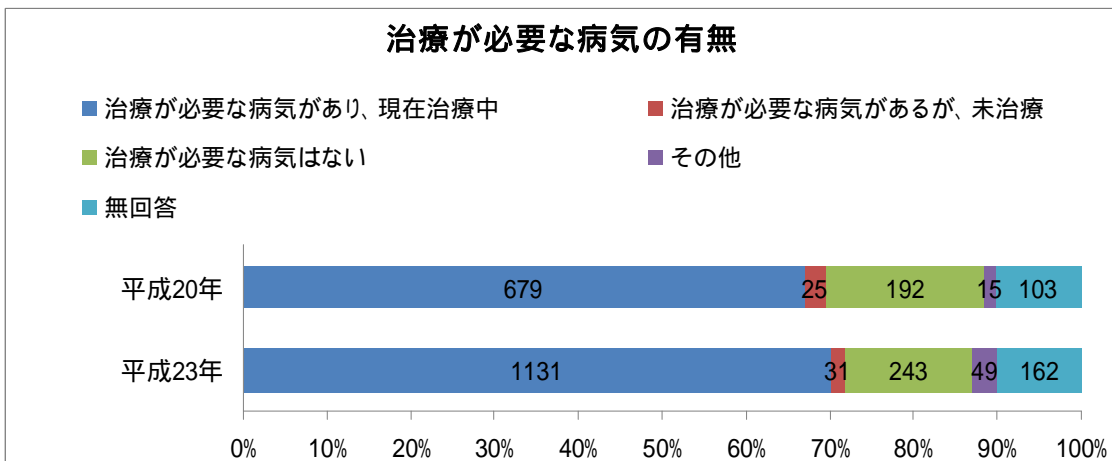


5. 健康状態と健康管理について

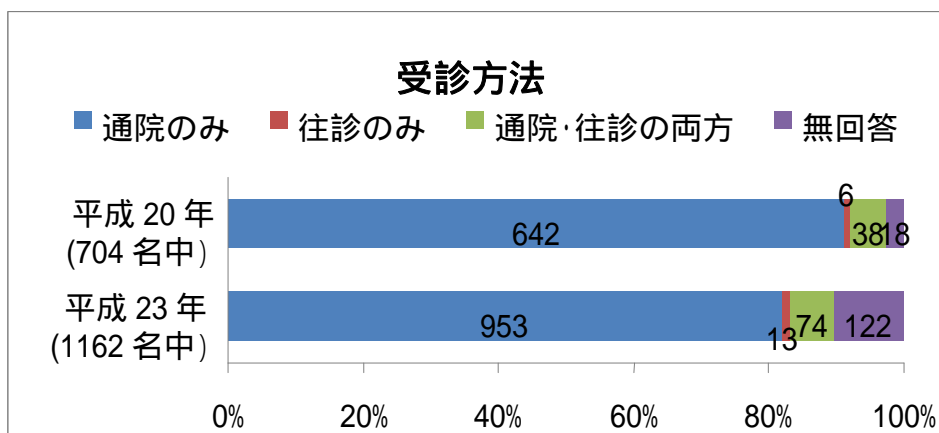
* 現在の健康状態は、「健康である」または「持病はあるが健康である」が合計でほぼ8割でした。



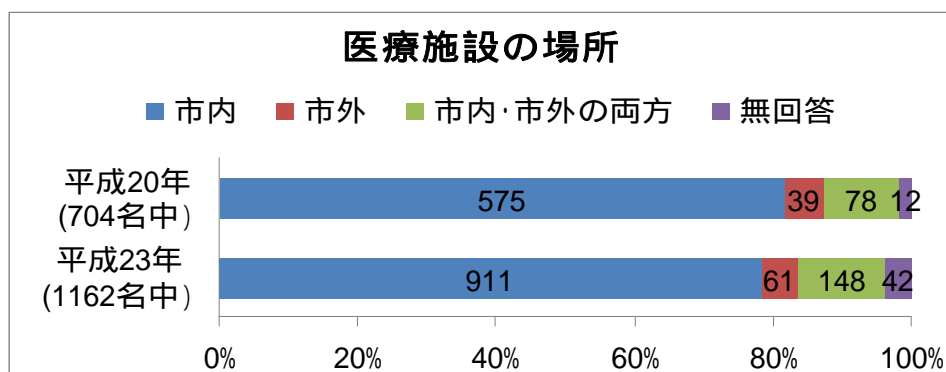
* 治療が必要な病気の有無を見ると、「現在治療中」の方が前回同様約7割いらっしゃいます。



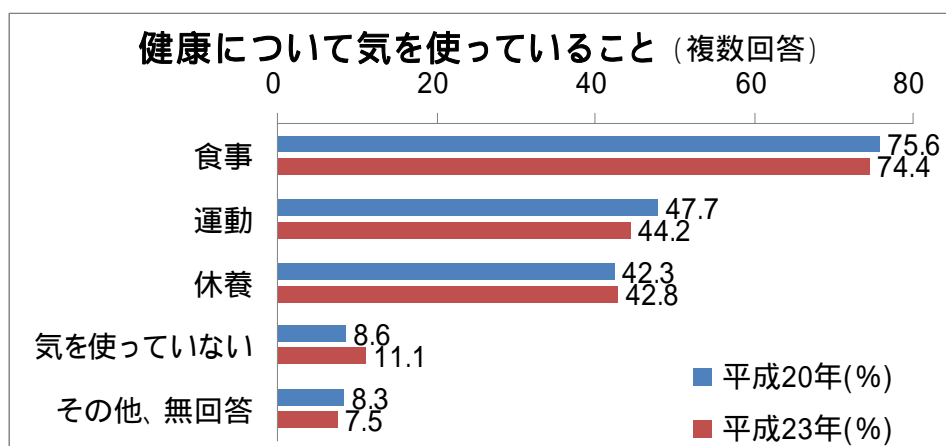
* 受診方法は「通院のみ」が8割以上でした。



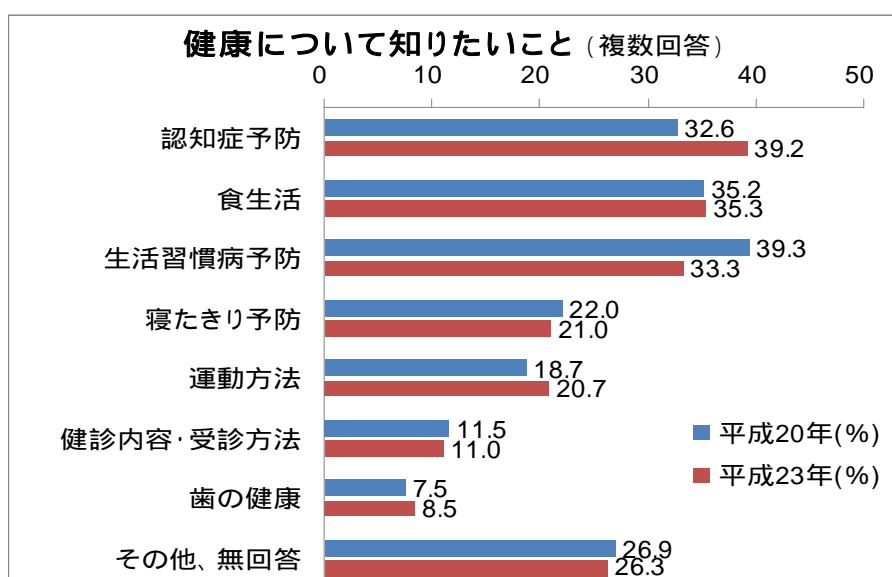
* 受診している医療施設は、「市内」が約 8 割でした。「市内・市外の両方」が前回同様 1 割以上いました。



* 健康について気を使っていることの 1 位は「食事」2 位は「運動」3 位は「休養」でした。



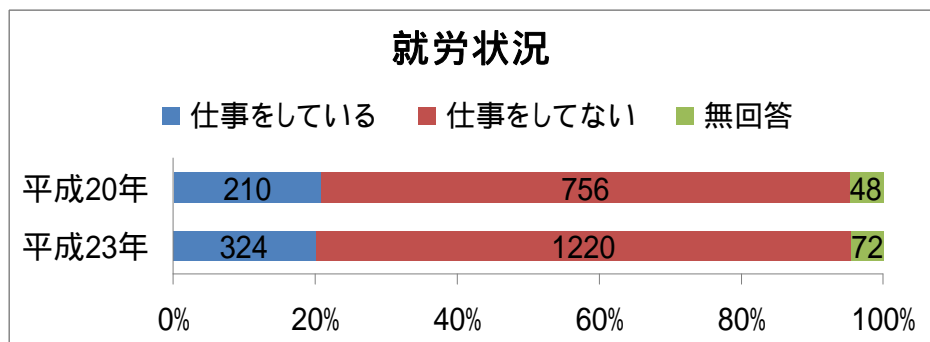
* 健康について知りたいことの 1 位は「生活習慣病予防」から「認知症予防」へ変わりました。



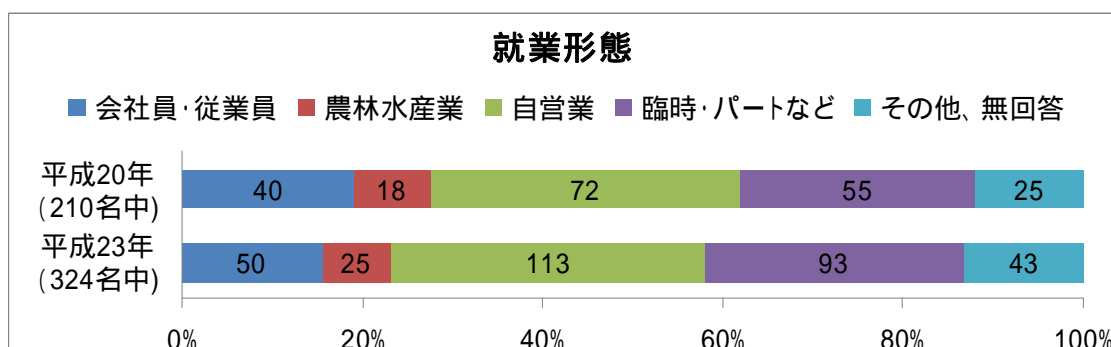
6. 仕事と地域活動について

* 仕事

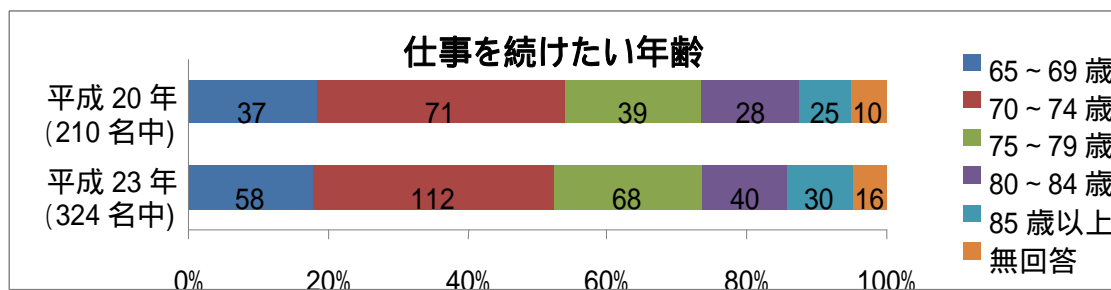
「仕事をしている」という回答は、前回と同様ほぼ 20%でした。



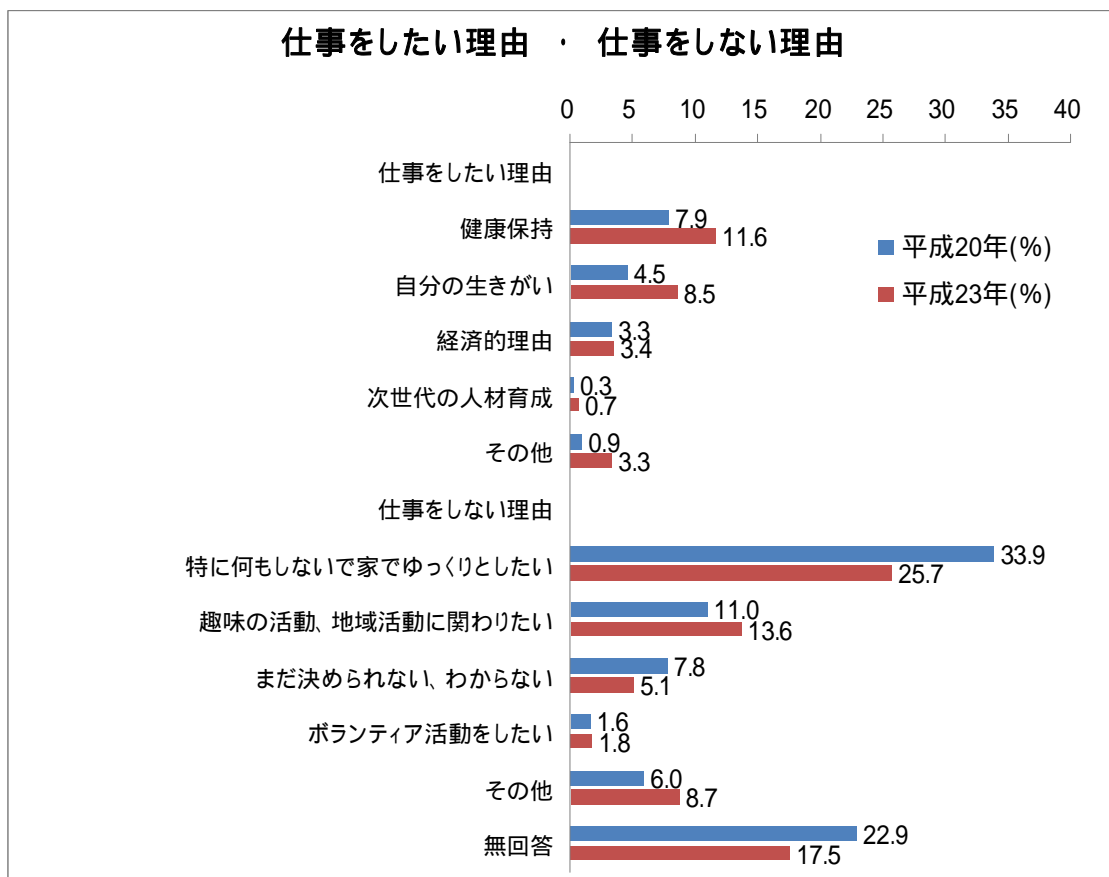
仕事の種類では、「自営業」が約 35%と前回と同様でした。一方「会社員・従業員」は前回 19.0%が今回 15.4%と減少しています。



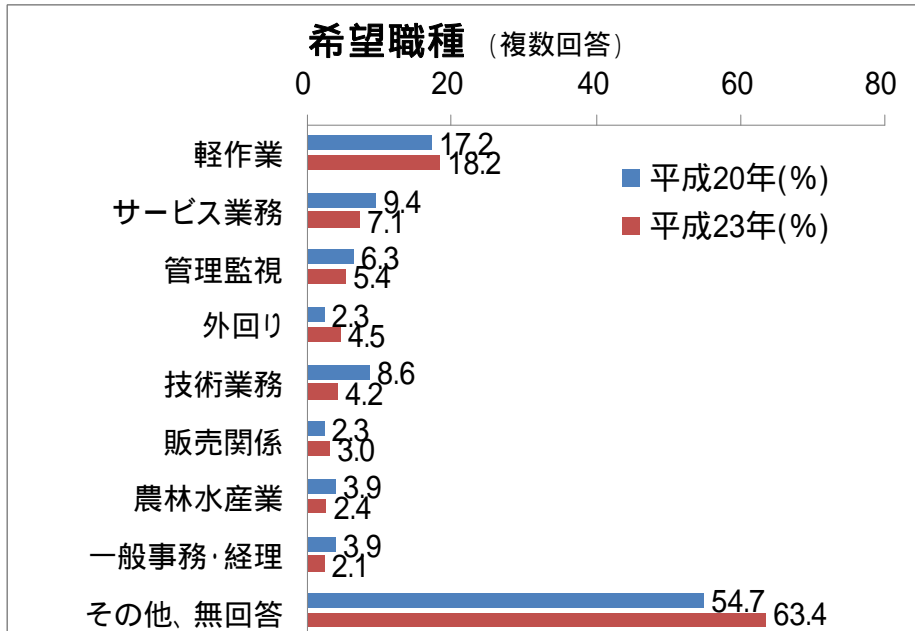
* 仕事を続けたい年齢は、大きな幅がありました。85歳以上の方も 9.3%と意欲満々です。この傾向は前回と変わりません。



仕事をしたい理由としては、1位が「健康保持」2位が「自分の生きがい」3位に「経済的理由」が挙げられます。仕事をしない理由では、1位が「ゆっくりしたい」2位が「趣味や地域活動に関わりたい」3位が「まだ決められない・わからない」4位が「ボランティア活動をしたい」でした。

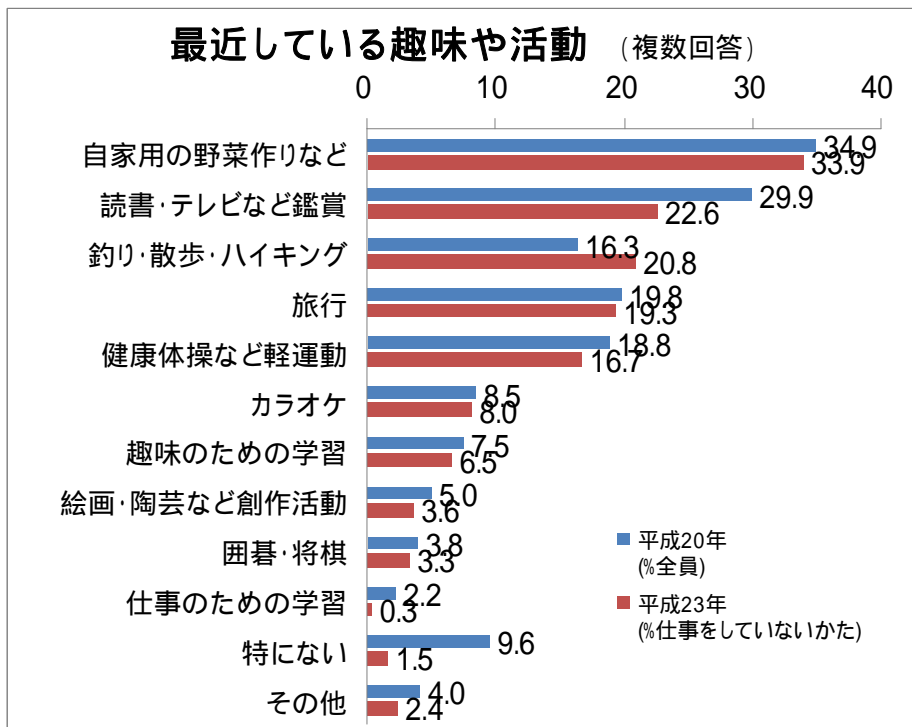


職種の希望では、「軽作業」「サービス業」「管理監視」「外回り」がトップ4でした。

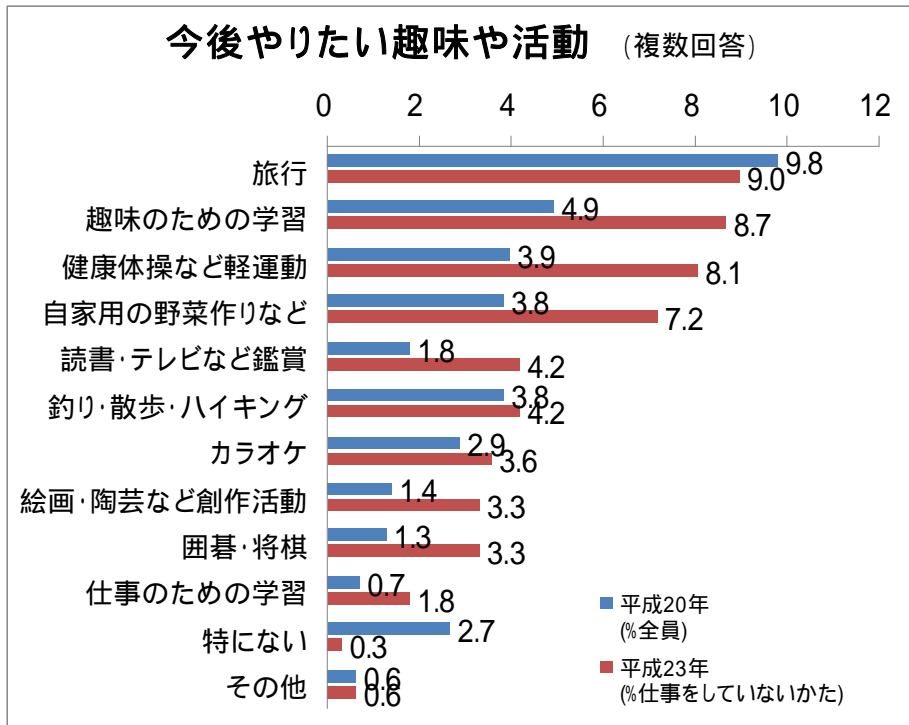


*** 趣味**

最近している趣味や活動では、野菜作り、読書・テレビ観賞、釣り・散歩・ハイキング、旅行、体操、カラオケ、学習、創作活動、囲碁将棋など多彩な回答が得られました。

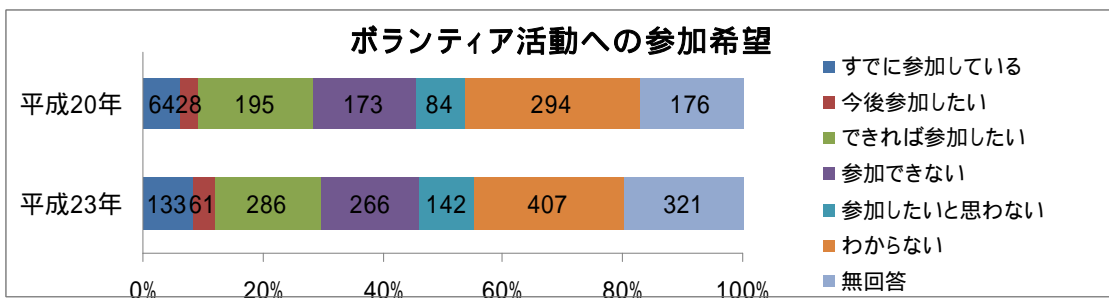


今後やりたい趣味や活動では、旅行、学習、体操などの希望が多い傾向でした。



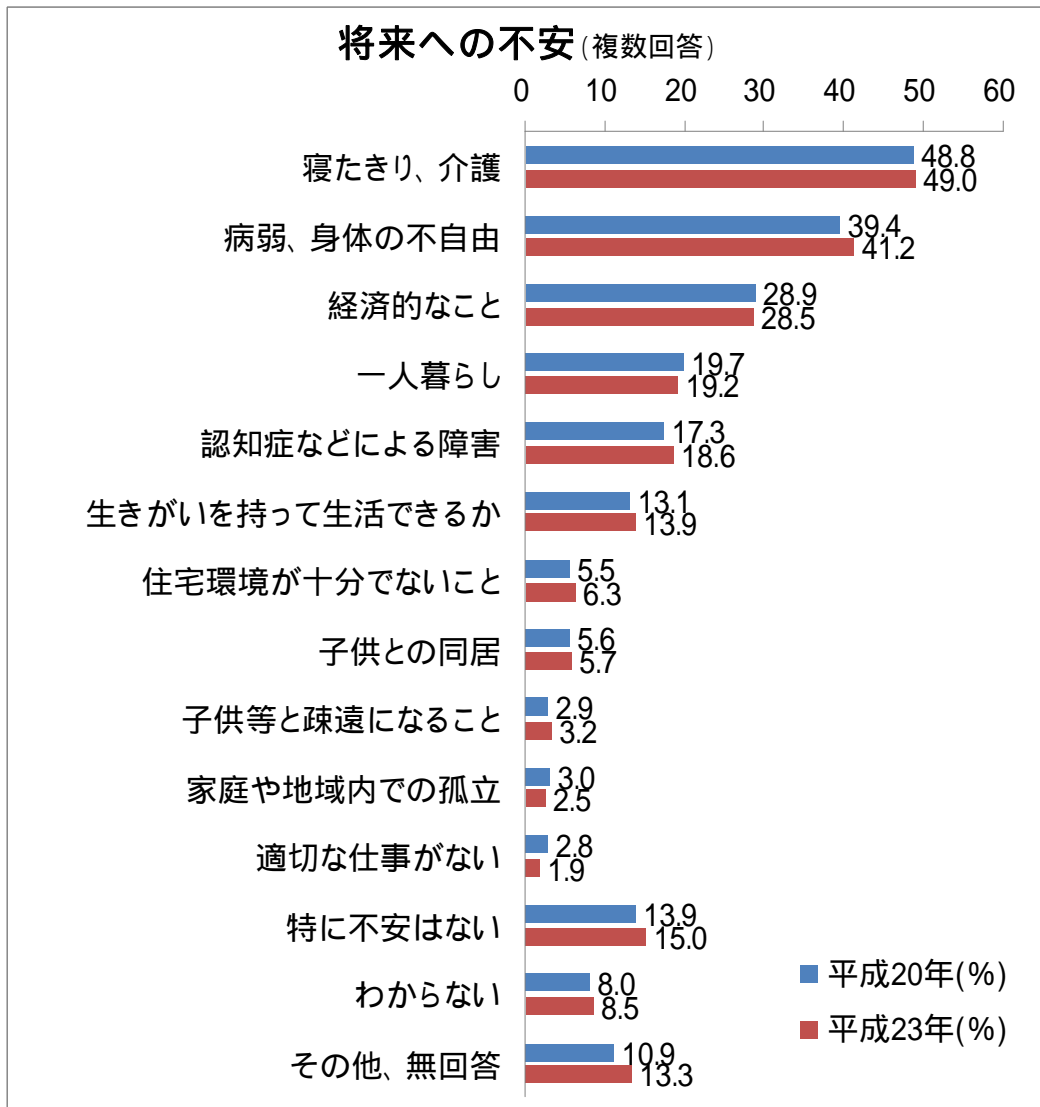
*** ボランティア活動や援護活動**

「すでに参加している」「今後参加したい」「できれば参加したい」という回答をあわせると約3割の方が意欲を示しています。



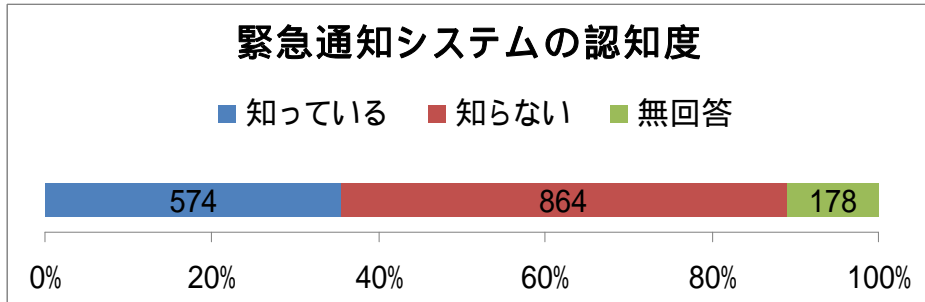
* 将来への不安

将来への不安では、1位が「寝たきり、介護」「病気や身体の不自由」が2位を占めました。3位は「経済的なこと」4位は「一人暮らし」でした。その他、さまざまな要素が挙げられました。これらの回答は、基本的に前回と変わらない状況でした。

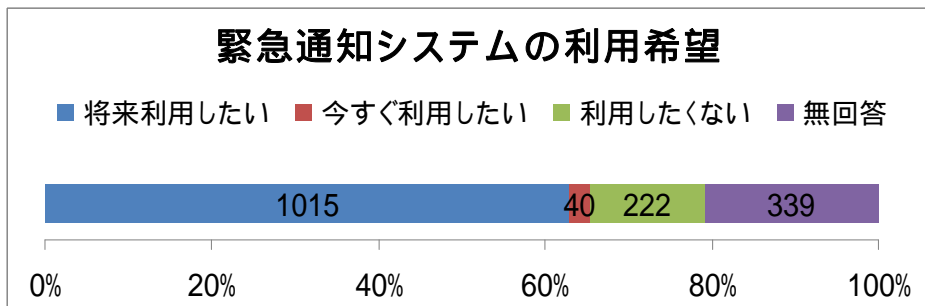


* 緊急通知システム

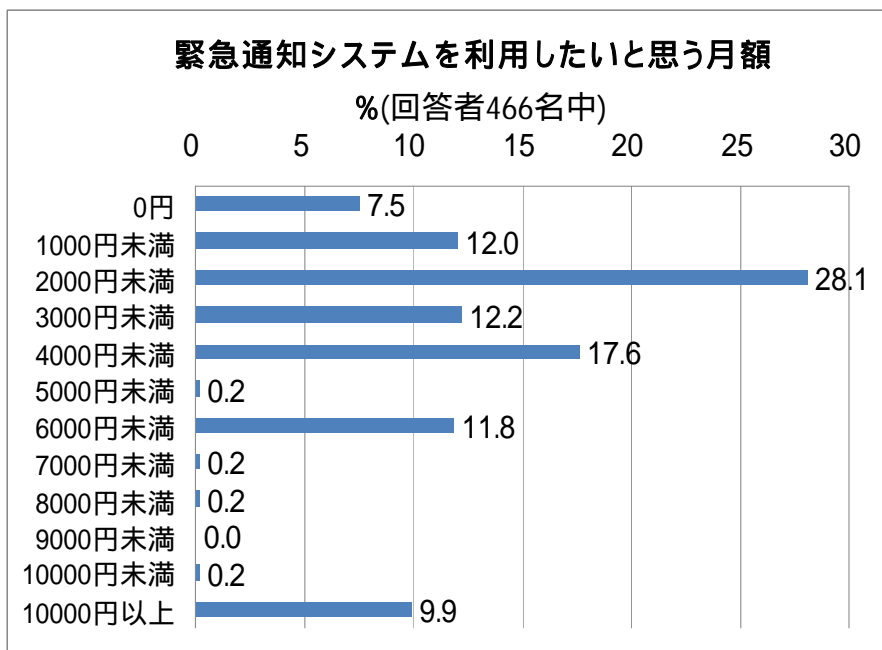
緊急通知システムの認知度について、今回初めて質問が設定されました。「知っている」方は35.5%でした。



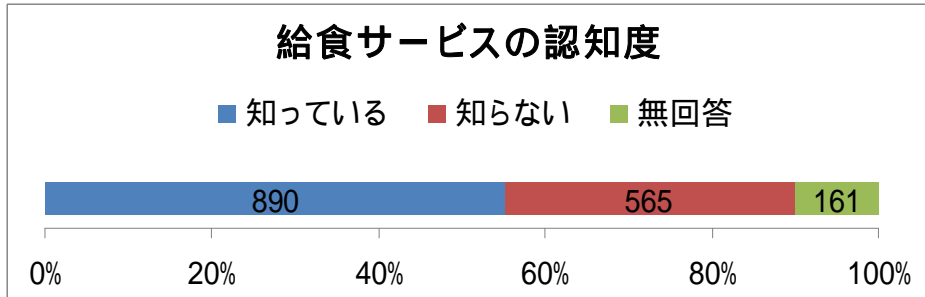
知っている方の中からは、利用希望は高いものでした。「将来利用したい」と「今すぐ利用したい」をあわせると約65%に上りました。



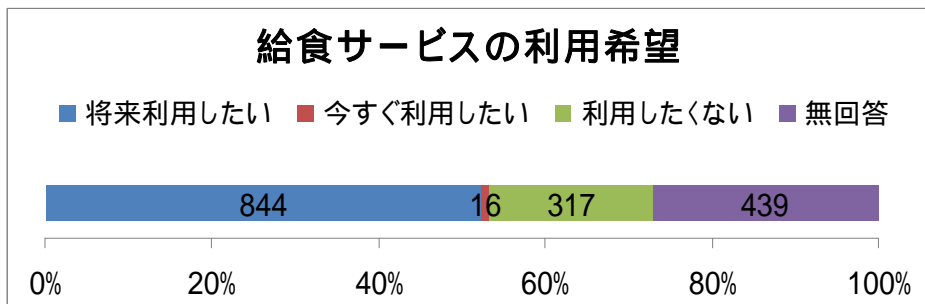
利用する場合の金額は、大きな幅がありました。



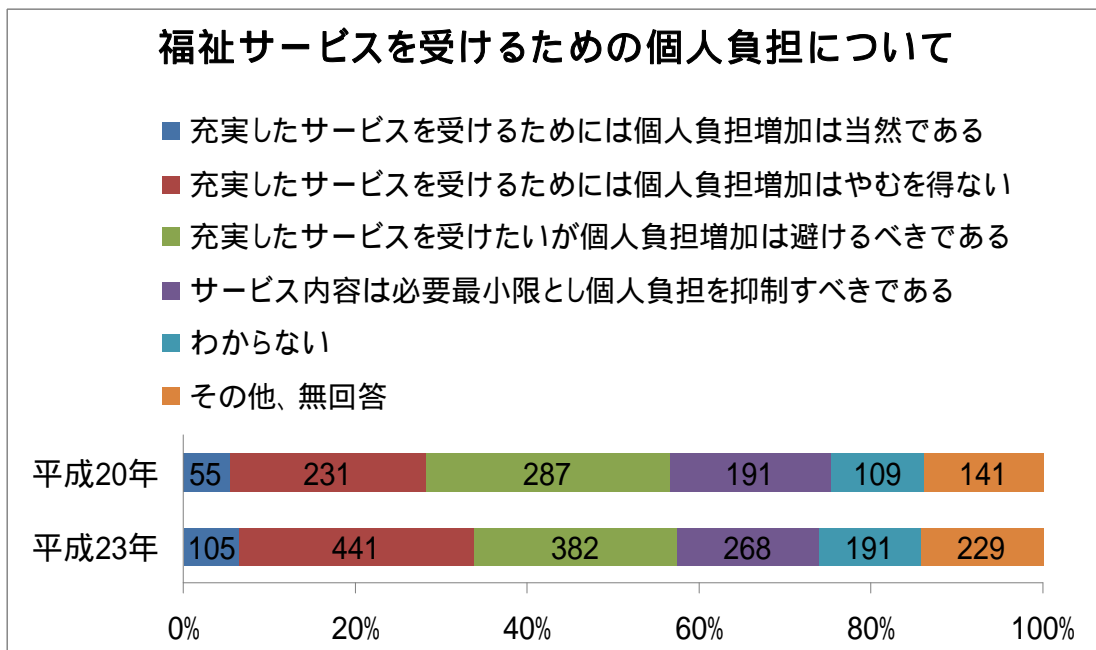
給食サービスを「知っている」という回答は55.1%に上りました。



また、その利用希望は「将来利用したい」が52.2%ありました。



福祉サービスを受けるための個人負担については、増加は「当然」とやむを得ないの合計は33.8%と前回の28.2%より5.6%増加しました。一方増加は「避けるべき」と「抑制すべき」をあわせると40.2%でした。前回は、47.6%と7.4%の減少でした。



H23 保健福祉アンケートには、うつ、認知症およびメタボスコアに関する質問が設定されている。

うつに関する質問：問 20,21,22,23,24、質問は日本語版 GDS に基づく。

認知症に関する質問：問 30,31,32,33,34、質問は平成 22 年度日常生活権高齢者ニーズ調査モデル事業（財団法人長寿社会開発センター）に基づく。

メタボスコア：留萌市立病院笹川らに基づく。

うつに関する集計結果：

質問は以下のとおりである。

問 20 （ここ 2 週間）毎日の生活に充実感がない（1 つに ）

1 . はい	2 . いいえ
--------	---------

問 21 （ここ 2 週間）これまで楽しくやれていたことが楽しめなくなった（1 つに ）

1 . はい	2 . いいえ
--------	---------

問 22 （ここ 2 週間）以前は楽にできていたことが、おっくうに感じる（1 つに ）

1 . はい	2 . いいえ
--------	---------

問 23 （ここ 2 週間）自分が役に立つ人間だと思えない（1 つに ）

1 . はい	2 . いいえ
--------	---------

問 24 （ここ 2 週間）わけもなく疲れたような感じがする（1 つに ）

1 . はい	2 . いいえ
--------	---------

これらの質問のうち、4 問以上を「はい」と答えた方を「うつ状態が懸念される」とした。

結果：

全体の結果は、以下のとおりである。

	人数	累積人数	割合 (%)	累積割合
Yes が 5 個	58	58	3.6%	3.6%
Yes が 4 個	79	137	4.9%	8.5%
Yes が 3 個	101	238	6.2%	14.7%
Yes が 2 個	174	412	10.8%	25.5%
Yes が 1 個	286	698	17.7%	43.2%

以上より、「うつ状態が懸念される方」は、137 人、8.5%に見られた。留萌市 65 歳以上の方全体でみると「うつ状態が懸念される方」は 587 人と推定された。

認知症に関する集計結果：
質問は以下のとおりである。

問 30 今日が何月何日かわからないことがありますか？（1つに ）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 31 5分くらい前のことが思い出せますか？（1つに ）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 32 その日の活動（食事、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか？（1つに ）

1. できる	2. すこし困難があるが、できる
3. 合図や見守りが必要	4. ほとんどできない

問 33 人に自分の考えをうまく伝えられますか？（1つに ）

1. 伝えられる	2. すこし困難があるが、できる
3. あまり伝えられない	4. ほとんど伝えられない

問 34 次のことについてお聞きします？（それぞれ1つに ）

質問事項	自分でしている	いくらかは自分でしている	できるが自分でしていない	できない
食事をする				

これらの回答に関して、平成 22 年度日常生活権高齢者ニーズ調査モデル事業の説明にしたがって認知症の懸念度合いを算出した。詳細は、平成 22 年度日常生活権高齢者ニーズ調査モデル事業資料を参照のこと。今回は、レベル 3 以上のみを抽出した。各レベルの意味は、レベル 6: 最重度の認知障害、レベル 5 重度の認知障害、レベル 4 やや重度の認知障害、レベル 3 中等度の認知障害

結果：

	人数	累積人数	割合(%)	累積割合
レベル 6	12	12	0.74	0.74
レベル 5	13	25	0.8	1.54
レベル 4	8	33	0.5	2.04
レベル 3	52	85	3.22	5.26

レベル 3（中等度の認知障害）までを合計すると、5.26%の回答者に認知機能の障害の心配がある。特に心配なレベル 4 以上でも 33 人が該当している。この人数から、留萌市 65 歳以上全体でのレベル 3 以上およびレベル 4 以上の推定人数は、レベル 3 以上で 363 人、レベル 4 以上で 141 人と推定された。この割合は、厚生労働省の 65 歳以上人口の推定率（7.3%）より低い。自記式アンケートによる影響が考えられる。

メタボスコアに関する集計結果：

自記式質問票のため腹囲の欠損が目立った。それを勘案して 20 点以上(メタボの心配あり) および 50 点以上(メタボの可能性高い)を集計した。

結果：

メタボスコア	人数	累積人数	割合%	累積割合%
50 点以上	152	152	9.4	9.4
20 から 50 点	79	231	4.9	14.3

これらの値から留萌市全体の 65 歳以上人口におけるメタボスコア 20 点以上の人数は、987 人、スコア 50 点以上の人数は 648 人と推定される。

* 市や国・道に特に力を入れてほしい高齢者施策などの意見（集約版）

問 78 高齢者施策などのご意見（件数）	平成 23年	平成 20年
高齢者用入居施設の設置	31	7
介護施設（病院付き）の設置、老人ホーム等の増設・充実	48	13
独居老人対策の強化(緊急通報の設置など)	4	3
住みよい街づくり（年金収入だけで生活できるなど）	12	17
除雪対策の強化	19	3
買物支援、交通手段の確保、道路の補修について	24	-
高齢者福祉の削減反対・福祉サービスの充実	8	7
高齢者の意欲を支援する環境(憩いの場、集いの場、運動の場、活かせる場)整備	22	9
老後の不安（年金のみでは生活不可能）	8	9
市立病院の対応改善、固定医の確保等、安心できる地域医療体制の整備	8	13
年金削減や医療費負担増などの反対	31	15
介護保険料の見直し、年金・介護保険・国保税などの増額反対	9	9
介護認定、介護保険について	5	-
低所得者に対する支援	6	-
情報提供を求める声	13	-
国や市の負担、個人負担について	14	-
若者の仕事場の確保	5	-
悪質なセールスに対する対策	2	-
行政や政治家に対しての不満	12	8
その他	19	-

* 市や国・道に特に力を入れてほしい高齢者施策などの意見（自由記載、全文）

高齢者用入居施設の設置など（意見総数 31 件）

- ・高齢者向けの住宅を増やして欲しい
- ・（近くで買い物ができる）ベースのある高齢住宅
- ・高齢者施設について、希望者多数の為、順番待ちの人達が多く、入所に不便を感じてる方が多いと聞いている。市営の施設の増設を希望したい。近い将来、我が家にも必要と思われる。
- ・シルバーハウジングの様な所に、希望者は誰でも入居できるように
- ・ひとり暮らしであっても、ある程度の広さと新しい快適な公営住宅に入れるようにしてほしい。マンション代に年金の半分位かかるので貯金が減る一方で、大変です。
- ・健康な高齢者が個室で生活出来、食事は基本的には自炊で具合が悪い時は事前に連絡しておく食事提供（有料）を受ける事が出来る。（個食が寂しくなった時、他の人と一緒に食堂で食事が出来る）具合が悪くなった時通報ボタンを押すと連絡出来る様なシステムになって居る。（寝たきりになっても自分の部屋で最期を迎えたい）その様な集合住宅が留萌に有るとうれしいです。
- ・夫婦共病気だと思いうようにいかず、こんな時、市を通じて、有料でも安心して頼める所があればと思います。
- ・一人暮らしでも安心して住める国の施設、24 時間見守り、気づかってくれる看護師さんがいてサポートしてくれるマンションかアパートがあったらと思う。
- ・高齢者が安心して暮らせるアパート、マンション等があれば良いと思います。
- ・高齢者用の安価な住宅等の充実
- ・80 才を経て一人暮らしは精神的にも肉体的にも大変。特に冬、除雪を思うと心が重くなります。安心して暮らせる施設が欲しいと思います。
- ・年金が少ない人の為の住まいを出来るだけ作ってほしい
- ・市の財政が悪化している事はわかりますが、介護を必要とする前に一人暮らしの老人（まだ自分の事が出来る人）の共同生活の場があると老後の楽しさ、生きがいがあると思います。老人の一人暮らしにはセキュリティが必要かと思います。（自分の経験上、大阪の叔母が一人で亡くなり、セキュリティによって一日で見つけてもらいました。）
- ・高齢者が安心して暮らせるアパート、マンション等があればよい。
- ・公共機関が、施設を運営し、入居しやすい施設の設備をお願いしたい。個人負担の少ない充実したサービス提供をお願いします。
- ・留萌も厳しい市ではありますが私達老人も厳しいです。少ない年金の中で暮らせる施設が欲しいです。お願いします
- ・将来的に望む事、シニア向けの賃貸住宅（マンション）が公的資金で出来て多くの自立できる高齢者が安心して生活を送れる居場所の実現
- ・年々施設が増えていますが、年金生活で、手取りも少なくなき、安心して入居できる施

設を望みます。このことは、市民全体が希望していることと、思います。

・老人施設

・留萌市には旭川市のように自分が入りたいと思うような施設がありません。もっと充実した老人施設を作ってください。ずっと留萌市にすみたいのでどうぞよろしくをお願いします。

・1人暮らしの年寄りが安心してらせる安い年金で入る事の出来る施設がほしい。

・高齢者用の住宅を増やしてほしい。

・高齢者がふえています。1人暮らしで身寄りのない人ほど身内に頼れない、年金が少ないなどの人が沢山いると思います。誰でも入居出来るシルバーハウジングを増やして下さい。

・現在は主人と二人で住んでいますが、子供達は離れていて不安です。近所の老人宅等一人暮らしの人が増えています。私も気をつけて声がけなどはしていますが集団で住み皆で声がけ出来る環境が良いと思います。

・後期高齢者医療保険が生活を圧迫している。個人的マンションは高額すぎる。市や道住など安価で解放すべき。

・一人暮らしの人達が、安心して生活のできる共同生活施設がほしい。国民年金の人達も安心して入所できる。

・廃校になった所を老人施設にしてほしいです。

・家を買って上げて安い高齢者が入れる住宅などをつくってほしい。(元気なうちはどこへでも外出が自由にできるような共同住宅)

・廃校になった学校など利用して高齢者用の施設を作っていただきたい。市又は町村で運営していくように……。又個人で健康管理を人にたよらずしっかりやる必要が有ると思う。

・現在女性の1人暮らしは多くなっています。長男との途中同居の問題もあります。私は68才です。20年後、私達が友達同士で笑って暮らせる、年金の中で生活出来る。留萌にそういう施設が出来る事を望んでいます。

・格安で安全、設備の整ったマンション介護その他医療の整った市営のマンションなど。一般の人達からの資金調達を考え庭いじりその他運動器具その他娯楽施設の整ったもの。立派なマンションで老後安心して暮らせるものを必要と考えています。

介護施設(病院付き)の設置、老人ホーム等の増設・充実(意見総数 48件)

・痴呆等の受け入れ先の施設が欲しい 留萌

・高齢者の介護施設をもっと作って欲しい

・年金で入れる様な施設を充実して欲しいと思います、いずれ一人暮らしが出来なくなったら入りたいと思っていますので、是非お願いします。

・施設に入りたくても留萌では順番待ち等、もってのほか、もう少しスムーズに入れる様に何とかして欲しい、1人暮らしだと食事もせずに朝目が覚めたら冷たくなっていた、な

んで考えるだけでも寂しくもあり、空しい限りです。

・私の母の場合は、今は地方の施設に入居していますが、最初留萌の施設で入居させていただけところがなく、札幌の施設に入居、そこは有料のためかなり高額でしたが毎月支払いました。それで大変なので、地方の病院にお願いし、施設に入居させていただき、そこで特老となり今は現在の施設に移りましたが、いくら内容をお願いしてもなかなか入居が無理だった事に、不満でした。たくさんの方が、待っているのはわかりますが、もう家族で見る状態でないにしても入居無理は困りました。

・特別養護老人ホームの拡大を望みます

・人間の幸せは、「金か、健康か」と言われた場合「健康に勝る幸せはない」と言われるものと、思考致します、ただし、現実的には寿命即持病を持つ事となり最悪の場合は入院となるが、長期を予定される場合は、3ヵ月が一応の目処とされる場合が多く、退院後は長期の介護施設に入所するのが、通例になっております。介護施設制度の開設から今年で10年になりますが、公的介護施設の入所待ちが、常態化している現況では、民間の「有料老人ホーム」が私達の不安を解消してくれる事に疑問があり公的施設の増強を切望致します。

・特別養護老人ホームを大きくして欲しいです

・老人ホームの充実

・年金が6万～7万円位しかもらってない人でも入れる老人ホームを作ってほしいです。

・介護老人保健施設を増やして欲しい

・介護施設(入居)がたりないと聞いている。充実をすべきだ。

・特養ホームなど充実を図るべき。

・特別養護老人ホーム(安価で利用可)の建設増。国に対しては保健福祉とははずれるが、消費税を下げしてほしい。病院にかかる費用からの消費税はとらないでほしい。

・医療設備の整った施設、道営、市、民間等、もっとふやしてほしい(国民年金者でも入れるような)

・施設等、どこも満杯で何年待ちとかよく耳にするのでもっとたくさん医療も充実した安心して入居できる場が希望です。入居費は各自年金の額によって定めればよいと思います。

・待たなくてもすぐ入れるようなところがたくさん出来て、あまり高くない年金で入れるようなところが出来ることを。

・特別養護老人ホーム施設入所への待機待ち者が多数いる様です。特に地方では子供達と同居機会が少ないので独居者がそれだけ多いのだから田舎ほど介護施設が多く必要と思う。

・特別養護老人ホームを作ること。

・公共の介護サービスを受けられる施設の整備をしてほしい。個人負担のない充実したサービスの提供ができる施策をしてほしい。

・市や国、道で運営している高齢者施設に入所が困難と聞いている。必要時に簡単に入れるように施設を増やして欲しい

・自分が介護を受けなければならない時、年金で介護を受けられる施設（特別老人ホーム）があれば願っています。

・国民年金なので、高齢者施設には入れないので特別養護老人ホームや、老人保健施設などを増やし国民年金でも入れるところを作って欲しい

・各種施設の門戸を拡大して欲しい（希望してもすぐには入れないので）

・希望者がもっと多く入所出来る施設施策が必要である

・少子高齢化社会が続く中で、市民が平等に生活していける様に行政のトップはじめ、議会がタイアップして負託に答えてほしい。ですので希望する方がタイムリーに入所出来る様に施設の建設など（民間に働きかけるなどで）検討してほしいです。

・自分の年金で入れる施設を増やして欲しい

・市内施設に入るのに現在は順番待ちで中々入れないと聞いていますが今後このような事の無いようにもっと施設を増設する等に力を入れて欲しいです。料金もあくまでも収入に応じた料金にして欲しいですね。

・年金で入居できれば、（どうしても一人暮らし出来なくなったとき利用したい）

・これからは、老人の人達が多くなってきているので、もっと介護施設が増えると良いと思います。それぞれの年金に見合った施設が欲しいと思います。

・留萌は重度の身障者の入る介護施設が足りないと思います。深川や旭川まで行かなくともいい様に施設を作って下さい。そして市立病院をもっと利用できないでしょうか。あんなに立派な病院があるのにもったいないです。どうかよろしくお願いします。

・将来は特老に入居したいと思っていますが、中々入居できない様なので施設が増えてくれることを願って居ります

・老人ホーム等の施設を増設してほしいと思います。

・介護施設をふやしてほしい

・介護を受ける者が施設に何か月も何年もまたなくていいような施設の充実をのぞむ

・寝たきりや認知症になった場合、安心して入れる施設が欲しい。

・これからも老人は増えるので、すぐ入れるといいと思います。

・介護施設に入所の時点で余り待期間がない様な施設を希望します。

・市や道の管理の老人ホームを造ってほしいと思います。

・誰もが安心して定額入居で入れるような施設を作っていただきたい。

・介護を受ける立場になって、年金で足りるような施設が多く有ればよいと思います。

・施設を増やしてほしい

・有料老人ホームも少し高すぎる。介護のヘルパーの人間ももう少し優しさがほしいし事務的に処理され、とりつく島もないわびしい毎日がいたたまれない。寂しいです。

・市と道と国の老人介護施設をふやしてほしい。

・留萌にもう一つ特老ホームを増設していただきたい。私のお友達は主人を介護していますが長い間なので疲れきっております。特老に申請しましたが順番を待っている方が沢山

で何時になったら入れてもらえるのかとっております。私もいずれ老いた時の事を考えると人事の様には思えません。

- ・高額だと入れないので年金で入れる所。
- ・公営の老人保養施設の拡充。
- ・病気になった時に安心して入所できる施設ができることを期待します。

独居老人対策の強化(緊急通報の設置など)(意見総数 4 件)

- ・ある地区の民生委員の方は、週 1 回必ず見回り声掛けをして頂いていますとお聞きしていますが、当地区の民生委員は年 1 回の書類上の時だけで全く困っています。
- ・ 88 歳の老齢にシルバーカーを押しての生活で 1 人歩きはできない状態です、お願いします。
- ・独居老人の寂しさ、不安、精神面のケア等、住民同士が助け合って暮らせるよう見本となる都市や他の国の参考になることを導入して。やれないのではなく、前向きにチャレンジして欲しい
- ・現在は夫婦健康ですが将来 1 人暮らしになった時の事を考えると食事生活が一番心配です。それで、老人を対象とした食事が出来る所があればと思っています。
- ・独居老人に対する十分なケアの整備を望む。

住みよい街づくり(年金収入だけで生活できるなど)(意見総数 12 件)

- ・充実したサービスを受けたいとは思いますが、現在の年金では、受けられません。
- ・わずかな年金生活者にとって、経済的不安がある以上、いかなるサービスも受けることはできない。
- ・何々広場、何々塾などがあっても、お金のいる所には、ほとんど行けません。やむを得ず家に閉じこもっています。
- ・年金支給額の物価に見合った金額の維持。
- ・高齢者世帯への見守り制度の充実。
- ・高齢者宅の訪問を 3 ~ 6 か月おきに。上記質問内容をしてくれると心強いと思います。
- ・高齢者が安心して暮らせる世の中であってほしいですね。
- ・個人の負担をできるだけ少なくして、老後を安心して暮らせる施策を国の責任において実施すべきである。
- ・安心してらせる地域になってほしい。
- ・安心と安全。それで充分です。
- ・高齢者が不安を感じることはない生活をできれば良いと思います
- ・なるべく個人負担をなくして、皆が安心して老後を送る事が出来るようにして欲しいです。

除雪対策の強化（意見総数 19 件）

- ・冬の雪道が滑らないように工夫して欲しい、除雪した雪氷などが、歩道の所に山になっているので歩道のところだけはよけて行ってほしい。自分の家の雪は勿論自分でやります。歩道は市でやって下さい。
- ・高齢者宅の冬の除雪に力を入れてほしい
- ・北国に住んでいると除雪の事が一番心配です。
- ・今現在は元気で生活させていただいていますが、毎日是不安と背中合わせの思いです。冬の雪はひざの悪い人間にはつらいです。最小限でいいから除雪をお願いしたく思います。ありがとうございました。
- ・冬場の除雪に特に力を入れてほしい。
- ・冬の除雪車が方々から集めた氷の入った雪を家の前に置いて行かれるのには困ります。
- ・雪国は除雪が必要です。
- ・雪積寒冷地の除雪労力負担の軽減。費用負担があっても良い
- ・住宅の駐車場や通路前の雪かきが困っているので、市でやって欲しい
- ・沖見町5丁目 住宅前の除雪ブルが入ってほしい。私道だからと言って入ってくれない、税金毎月払っている、市営住宅の生活保護者だけ優遇されていて不公平だ。
- ・冬期間に除雪お願い
- ・除雪をお願いします。捨てる所はありません。
- ・生活が大変なのであまり負担をかけてほしくない。特に市にお願いしたいこと冬の雪なげが大変出費もいります。体はもちろん高齢者にとって一番。市道ですので朝1日一度位ブルを入れてほしいです。
- ・除排雪の徹底に金かけろ（公道の裏側の道路をいっている）旭川方式がいいと思う、除雪車のうしろに排雪車が。
- ・留萌の冬は雪が多く、一人暮らしの私の家は、朝のブルの雪が玄関前にたまるので大変です。市の方で何らかの対策をお願いしたいと思います。
- ・高齢者の除雪は大変です。何か案はないでしょうか。私どもの家は昭和4年生まれと8年生まれの家庭です。
- ・私82才の老婆の1人暮らしです。毎年、除雪に困っております。どうしても除雪代に1冬7万~8万かかります。安い年金からやりくりしてどうにかやっていますが大変です。
- ・1番たいへんなのは除雪です。私達の年では除雪は無理です。除雪が通るたび1mほどの雪だまりを玄関の前においていきます。
- ・冬の除雪の事が一番の心配事です。手間の負担金が大きく、この冬は10万円程かかると思います。特にブルの置いていく雪に悩まされています。せめて高齢者の家の前だけでも少しの配慮が欲しいと思います。

買物支援、交通手段の確保、道路の補修について（意見総数 24 件）

- ・施設ではありませんが、安心して歩ける歩道の整備、自転車を利用しての通行、段差、アスファルト舗装の凸凹欠損
- ・道路の整備、開運町のバス停通りの歩道のレンガがはずれ穴があいていて、歩く老人がそれで足をくじいていました。
- ・買物、病院へ行くのも交通の便がわるく、行くのも大変です。
- ・一人暮らしのための人の外出、買い物の支援などのことに力を入れてほしい。
- ・交通安全の物品の配布
- ・人道が悪くて2回程ころびました。
- ・近くに商店がなく買い物難民になるだろうと思う。以前のように電話一本で届けて来てくれたり移動販売などがあると便利だと思う。他は現状維持で良いと思う
- ・高齢者の環境がある程度整ったと思うから、バスを通してほしい
- ・交通の便が悪いと出掛けられない。
- ・買い物ボランティアがいて欲しい。スーパーが遠く坂道で移動の足がないので不便を感じている。
- ・買い物等、店が遠く不安である
- ・公共交通利用の割引制度、公民館、コミュニティーセンターの高齢者割引
- ・市かどうか分かりませんが、市立病院に沿岸バスで通院してますが、「末広町のバス停」に小屋が無く、冬は寒く、夏は暑く、特に冬期間は時間が10分位遅れます。外で「バス」を待っているのが、年令と共につらくなりバス停に小さな小屋を、ぜひとも造って下さい。冬吹雪等の時は、かくれる所がありません。だからと言って、ハイヤーで行くには高額で無理です。
- ・高齢者施設への交通手段（特に冬）が大変です。
- ・将来年令が増すにしたがって交通手段に支障が出るようになった時充実した公共交通網がたしかなものになってほしい。市内共通の運賃制と利用頻度の高くなるようにしてほしい。自分で動ける内は努力するが、そうではなくなった時、充実した行政をしてほしい。
- ・今は二人で暮らして居るので一人になった場合交通の便が心配ですのでお願いします。
- ・将来病院通いする様に成ったとして無料バスが出来ると良いと思う。
- ・買い物に困ります。1ヶ月に1回でも訪問して下さると助かります。
- ・通院、物品購入などへの交通手段の確保。
- ・交通安全のすべてに
- ・お店が近くにないのが一番悲しいです。ほしい物が町の方まで下りて行かなくてはいけないので不便です。
- ・高齢者が歩きやすい道路整備、市道。
- ・町へ買物、病院へ行きますが、南町ひまわり台は坂が多くとても不便です。バスは緑ヶ丘までですので腰や足が痛いので大変です。大方タクシーを使っていますが経費が大変な

でももう少し近くまでのバスがあればと思います。出来れば・・・お願いします。坂が急で行かれない(坂の下にマックスバリュ、ホームック)有りますが。

・問45にあるような・・・居室、・・・講座に参加意思があっても後期高齢者の場合「足」がなくていけません。ハイヤーの半額チケットでも・・・無理ですね。

高齢者福祉の削減反対・福祉サービスの充実(意見総数8件)

- ・福祉
- ・高齢者サービス
- ・介護、福祉サービスをもっと充実してほしい。
- ・高齢者にももっともっと力を入れてほしいです。どこに行ってもきちんと？一人でいても安心しておれる場所。不安のある人もいます。これは市かな...？私も高齢者の一人です。今はまだ体は動けます。
- ・今は子供があまりにも優遇されています。高齢者をもうちょっと考えてほしい。
- ・高齢者、障害等に力を入れて欲しい
- ・高齢者の多い時代に入るので、充実した時代を見直しする必要がある。弱者ばかりで無い、元気者に対するサービスが不足して居る。
- ・高齢者に優しい施策の拡充。

高齢者の意欲を支援する環境(憩い、集い、運動、活かせる場)整備(意見総数26件)

- ・ぶるもを有効に使うべきである、何も使用しないで、賃貸料を払うのはおかしい、健康維持には、水の中での運動が一番良いのではないかな？
- ・気軽にストレッチなどができる場所が市内に増やせないか？運動器具などは使わずに高齢者が立ち寄れる場所をもっと多くして欲しい
- ・ピンピンからだ教室に参加して、いろいろな介護予防事業があることを知りました、今後は、音楽に合わせて動く、軽いリズム体操の様なものがあつたら、また参加してみたいと思います。
- ・留萌市は四季をあまり楽しむ場所というか憩いの場がない
- ・1.何時の時代も「世の中は、金次第」である。2.他市から見ると、高齢者が憩う場が少ないと思う、情報収集をすべきである。
- ・留萌では健康教室を色々やっていてそれはそれでいいのですが、足が悪い場合はやっぱりプールの再開が一番だと思います。本当に再開できるのか不安です。
- ・もう少し税金の滞納者にはきびしく・・・。今まで一生懸命払っている身は思います。道路は現在でいいです。色々お金のむだだだと思います。
- ・コミュニケーションの場を増やして
- ・高齢者が集まって楽しむ場所の設置
- ・高齢者が地域の方々と交流を深められるよう集合場所を、そこに行きやすいよう

小型の車で家のすぐ近くまで送迎できる工夫等を考えてほしいと思います。

・市に対していつも思うことがあります、留萌の国道、道道、市道、すべて道路の雑草がとても目につき出来れば高齢者のアルバイトとして草をとってきれいな街にと思いますが、いかがでしょうか？とてもみぐるしいですよ。他の街は美しいです。

・ぶるも再開して欲しい。空けとくのはもったいない。早く泳ぎたい。

・プール再開を強く望みます

・一昔前、介護（家庭で看取り家族のみで）よりずいぶん楽になり家族の負担も少なくなり、良くなっている分責任感も少なくなっているかも知れませんが私自身としては、ずっとこの生活を続けられるような安心感もあり期待もしています。

・迷惑をかけないように日常生活をきちんと立てていこうと思っています。

・もっと老人憩いの場、活かせる場が増えるといいのにと思います。（歩いていける、自由に出入りできる）

・今後ますます高齢者率が高くなります。健康な高齢者がそれぞれの得意分野で福祉に関わって行く様にしなければカバーしきれないのでは。老後の生きがいとなり少しでも個人負担を抑えるようにしなければ大変になると思います。

・冬期間は特に大勢の人が集会出来る会話の場、それに付随した飲食コーナー、軽いスポーツが出来る総会施設が留萌にあっていいと思います。

・これからも特に多くなる高齢者のために室内のパークゴルフの施設を作って（冬のために）

・プールを再開してほしいです。

・ぶるもの復活

・介護を受けている人も、病弱な人も、元気な人も気軽に利用できる施設、仕組みづくりをしてほしい。

・町内会単位で高齢者が日常生活で活動できる施策（農業、漁業、ボランティア等が参加できるもの）

・早くぶるも再開してほしい。

・健康の為プールを再開してほしい。

老後の不安（年金のみでは生活不可能）（意見総数 8 件）

・少しの年金で 2 人細々と食べています、これ以上生活が苦しくなりませんように祈る毎日です。

・少しばかりの土地や自宅があっても、年金が少ないので、日々の生活が大変です、私の様なものは、土地や家が売れないで、自分の元気なうちに、処分したくても今ではどうしたらいいか途方に暮れているところです、高齢者の暮らしやすい様にして欲しいと思います。

・冬の除雪が 80 才以上の人にはとても大変な事です。全部人だのみにする為に生活が大

変です。国民年金だけではとても生活が出来ず毎月が困ります。其の内に生活保護を受ける様にもなるかと心配です。頑張りますが其の時はお願いします。

- ・これからは色々とお金を引かれるのは困ります。これからの事が心配です。
- ・現在の年金では生活出来ません
- ・私は年金ギリギリで生活をしております。又病院通いもしております。この先介護を受ける様な事でもなれば暮らしていけないし、もちろん介護生活や老人ホームなども行くことなどできないと思います。それが少し心配です。
- ・女性の独り暮らしの年金生活では、色々サービスを受けるには年金をもう少し上げて頂きたいです。収入は少なく負担ばかり増えるのでは、私は将来不安でなりません。早く死んでくださいと言われているようです。憤りを感じております。
- ・現在は老夫婦、自宅で同居の子供をたよりに生活しているが大変めいわく掛けている。色々考える事も有るが、先ずお互いに成る事を考え乍ら、はげましあい乍ら療養生活を続けています。施設も順番待ちとか聞いています。介護認定が中々むずかしい様ですが(同居家族)一緒の家庭の人が共倒れになったらと心配しております。相談に行く気力も無くしております。

市立病院の対応改善、固定医の確保等、安心できる地域医療体制の整備 (意見総数 8 件)

- ・往診してくれる医師がいなくて困っている
- ・市立病院の併設利用等
- ・療養的病院が特に留萌の場合不足していると思う。一か所だけだが内容(患者の扱い)が良くない。患者への気配りなど。内容の良い病院が出来れば十分営業できると思う。(病院として)患者の状態がやや安定していると3週間くらい経つと療養的病院に移されることが有ります。
- ・住み良い街づくり。医療施設の完備と医師の常勤。
- ・ながいきの時代です。市立病院に立派な先生方を長くいてくれる様に希望したい
- ・留萌市立病院の訪問看護在宅医療の充実を希望します。
- ・市立病院の医者を少なくしないで下さい
- ・病院等の医療内容の充実

年金削減や医療費負担増などの反対 (意見総数 32 件)

- ・最低年金の為、これ以上減額はしないで欲しい
- ・医療費や灯油代の負担、年金より天引きが増えるのは困る。
- ・高齢者の医療費負担を軽減してほしい
- ・年金額が現在スライドされ一旦下がったが最近特に食料面の物価が上昇して来てるので新たに上昇する等の処置をとって欲しい。
- ・年令制限がない介護保険ですが、80才~90才まで過ぎたら無料にしてほしいです。

病院にかかると1割も負担がかかりますので死ぬまで支払いしなければならない。

- ・年金等の減少なきよう力を入れて下さい。
- ・高齢者の医療負担を少なくしてください。年金をこれ以上下げないでください。
- ・高齢者に対する税金の軽減。
- ・高齢者に対する負担減。
- ・年金もう少し増やして欲しい
- ・年金が年々減って苦しくなっている。年金を少しでも増額し安心して暮らせるように国に要望します。国民のための政治をお願いします。
- ・年金問題
- ・国民年金で生活できるようにもう少し増やして欲しいです。生活保護より少ないのはおかしい
- ・65才・75才の2段階の高齢者の医療費の負担は65才一律に1割負担すべきである。現状の国会議員では無理だ。議員は市、道、国、共通で国民の声、国民のことなんて何も考えない者ばかりか税金泥棒で、生活している。もう50年も経つと日本国は沈没ですぞ。若い人たちは気の毒だよ。年金はもらえない。消費税は天井知らずで、30%は跳ね上がるわい。このアンケートは全市民対象に取り組んでこそ実があるか、今回の対象者はどの割合になっているのか、これも疑問ですね
- ・現在の高齢者は年金生活で負担が増えるのは一番困ります。
- ・期待していないが年金の目減りや介護保険等の増額など年寄りいじめはやめて欲しい
- ・年金を沢山欲しい
- ・年金を少なくしないようお願い致しますと共に国、道、市にて税金の天引き問題は生活の一大問題です。
- ・後期高齢者の選者にかかり薬代など3%で泣いています、早く死ねと言う様で、支払いは薬代を節約して飲んでいません。毎日の食事代の方へ使用しています。
- ・年金をへらさないようにしてほしい
- ・高齢者の年金、下げないでほしい。
- ・年金額を減らさないで下さい
- ・これ以上年金はへらさないで下さい。全体に。
- ・特にありませんが「年金の減額」をしないでほしい
- ・高齢者の医療負担を少なくしてほしい
- ・年金が少ないのに介護代金が高すぎます。
- ・年金の減額は絶対やめてほしいと思います。
- ・高齢者に対する負担金が多すぎる。毎年年金が少なくなっているのを考えてほしい。
- ・重度障害者医療費の負担について。現行の一般、現役並みの所得の世帯、低所得者、世帯以外に世帯主が均等割世帯も低所得者とみなされる制度を要望したいです。
- ・年金暮らしで年金も以前より少なくなってきた居り、天引きはすぐ引かれ個人負担が増

加しないで出来たらと思います。

- ・年金の金額を多くしてほしい。
- ・今は年金で生活して主人がなくなりアパート代もけっこう高いので年金をもう少しあげてくれると助かります。子供達から援助は受けられません。(子供達も生活が大変です。)

介護保険料の見直し、年金・介護保険・国保税などの増額反対 (意見総数 9 件)

- ・高齢になったので保険料安くしてほしいです。今現在自分の事でいっぱいです。・仕方ありません。失礼します。
- ・1.高齢者施設の拡大は負担増となるので現状でよい。2.介護保険料がどんどん増えるのは将来が不安。3.個人負担が一律一割負担なのはおかしい。認定の軽い人、あるいは年齢の若い人の一割は見直すべきと思う。
- ・保険料が高くなること
- ・高齢者施設デイサービスセンターで高齢者がお金がかかります。そして国民健康保険、介護保険の天引きをされ、たいへんな高齢者の生活、介護デイサービスセンターをしない方がいいのではないか。
- ・高齢者が増加して、国の費用がかかるのはわかりませんが、高齢者への金銭的負担は出来る限りおさえてほしい。
- ・介護保険料が高いので減らしてほしい
- ・税金が高すぎ。国保が高すぎ。固定資産税が高い。
- ・介護保険料を下げてください。

介護認定、介護保険について (意見総数 5 件)

- ・充実したサービスを行うために、各方面より努力して下さっている事に心から感謝しております。けれども不当な者(例・・・甘い認定、本人は急な階段の札幌ドームでファイターズ観戦が度々)が少なくなれば本当に必要な方達にその分充実するのではないかと考えているこの頃です。
- ・痛みに耐えながら動いているのに要支援になったりピンピン歩いている人が要介護だったり、コンピューターやイメージで決められるものなのですか、おもいきり納得できません。
- ・あまりひどくない体の人でも介護を受けている人がいると思います。何とか自分の力でガンバってる人を見るとしっかりとその人方を見てきめて介護保険を正しくつけてほしいと思います。
- ・ない、介護保険は私には必要ありません
- ・高い介護保険をはらっているの、申請したらすぐ利用できるようにして下さい

低所得者に対する支援（意見総数 6 件）

- ・保健、介護、福祉サービスに高額所得者と一般の平均的所得者との施策に格差があってはならない。特に高齢者には、皆同等のサービスが受けられる様、政策上配慮すべきと思う。
- ・いつの社会（国）もお金持ちの人はいつまでも高い高齢施設や介護サービス、医療などできます。本当はそうではない低所得者や困っている人皆に同じサービスや施設が利用できる社会になって欲しいと思います。
- ・低年金所得者に対して支援をしていただきたい。
- ・年金受給者の生活と生活保護家庭のとの比較で同一レベルになる様に（最低年金受給者は困っています）
- ・高額所得者からの徴税制度の改善と所得弱者への支援制度の樹立。
- ・生活保障

情報提供を求める声（意見総数 13 件）

- ・現在何があるのか知りたい
- ・老人クラブ等に参加していない、老人宅への情報、指導の必要性
- ・私は 82 歳の女です。もう、ばあさんですが自分の事が出来なくなったら、お世話になりたいです。また介護の認定も受けていませんが足と腰を悪くしています。どうしたらよいのでしょうか。
- ・高齢者施策の情報が入らない。どのような活動しているのかさっぱりわかりません。
- ・市に対して「問 72」の緊急通報システムの件。「広報」などで利用にあたっての条件など再度教えていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。
- ・調査について結果等が公表された事はありません。何の意味もありません。無駄の事と思えます。「介護・保健・福祉サービス」等のマニフェストの配布を！！
- ・問 75（給食サービス）に対しての記入のコメント、知っているが、地方によっては提供してくれないようです。それが心配です。今のところまだ大丈夫ですかね。
- ・自分が受ける個人の介護、福祉サービスの内容等について、いざという時はどうすれば良いかわかりませんので、これらの内容を個人宛に配布して欲しいです。
- ・食事の用意が不自由になると心配、宅配は一人暮らしのひとばかりですが、お金を支払ったら受けることは出来ますか。とても気にしています。とてもうれしかったです。記入することで忘れられていないことに安心しています。ありがとう
- ・初めて、介護保険料を払い始めましたが、自分が介護を必要となった時は、お金を払わなくていいのでしょうか？その為の貯金みたいのものなのでしょうか？その所がはっきりわかりません。市でも、国でもはっきりと説明してほしいです。介護を受ける時に払うだけの年金はもらっていません。
- ・寝たきりや認知症になった場合、安心して入れる施設が欲しい。又そんな施設が現在留

萌にどれ位有るのか一覧表でもあれば良いと思います。

・この度のアンケート調査で高齢者に配慮した制度や機関があることを知りました。高齢者は近い将来これらの制度を使わせて頂きたいことを常に思っていますが、具体的に解っていないような気がします。そのために秋の老人の日に因んで各方面毎に関係者の方が出張して看護制度とか食事サービスなど料金のことも含めて講話して下さると正しい利用や料金のことなど安心して過ごせると思います。

・高齢者が集まりやすい(町内会)所での説明会をのぞむ。

国や市の負担、個人負担について (意見総数 14 件)

・サービス内容は必要最小限として個人も自分の責任、負担も考えて行かないと。後世の人達の負担が大変になるのではないかな。

・市や国が老人の世話はするべきではない、子供と同居が一番幸せではないでしょうか。子供のいない人は施設に入るか市や国がみるべきであって子供は親を見るのが基本です。

・市も国も負担増にならない施策で良いのではないかと思います。生活保護を受けている人が働いている人の初任給よりも多いくらいの生活状態です

・高齢者が増えて国も市も大変です、我らもなにぶん気をつけて暮らして生きたいと思っています。よろしくをお願いします。

・官民共同による高齢者施設など適応性のある民間の事業団との連携による運営、管理を行うべきで官のみの負担による福祉事業はどうかと思います

・施策以前の問題か?とも思科されますが、近年特に高齢者に多いとされる「廃用症候群」に対応する事が必要ではと思われれます。市民一人ひとりが快適な日常生活を...の願いは、各人が如何に「体調の自己管理を実施」するかにあるとも考えられます。市民が積極的関心を示す方策を御検討賜われれば誠に幸甚と存じます。

・まだ勉強不足で、公の福祉や介護の具体的な政策や支援が解らずにいますが、高齢は進むばかりですので、受ける側も、支える側もまじめに考えなければと思います。まず、高齢者自身寝たきりにならないことだと思います。はからずもそうなった場合家族も、公も、人として尊厳をもって対処してほしいと思います。

・毎月年金から介護保険料ひかれていのに福祉サービスを受ける時、等級によって金額をとられるので何とか健康に過ごしたいと思います、市も大変だろうと思いますが頑張ってください。

・これ以上甘えた考えでは駄目だと思います。自主自立しましょう。

・高齢者といえどもあまり増長する優遇はさけるべきだと思います。例、パークゴルフ場等も最低限の有料でもよいと思います。

・自分自身で考えたいです。介護する人の事も考えてほしいと思います。20年前よりずいぶんよくなりましたけど全てお金ですね。

・少子高齢化時代に伴い近年の医学進展には、素晴らしいものがあります。お陰様で平均

年齢寿命が伸びました。この反面、福祉サービス業者の増加により営利目的にとられることのないようお願いしたい

・高齢者の福祉サービスという、とても良い言葉に聞こえるが高齢者が望んでいる政策なのか、疑問がわく。サービスをするのだから負担という負担が目的で、常に高齢者を利用しているのではないかと。

・国の宝は国民です。宝は国が守るべきです。個人負担の言葉が不愉快です。

若者の仕事場の確保（意見総数 5 件）

・農・漁業の企業化をすれば若者の職場も増え地元を離れる率も少なくなり、高齢者の人達も安心して暮らせるのではないのでしょうか。また、住宅も二世帯住宅にし、広いスペースにして、親子が助け合いその生まれ育った土地を離れてしまうことがなく続いていく国。こんな理想が実現すると良いですね。努力したものが報われる社会、づるける者が老後、国に世話になることが当たり前だと思う人達が増える世の中は決して栄える事は無いと思います。

・笑顔で生活できる環境作りということは、難しいですが、それを支える若い世代が安心して生活出来る環境作りが 1 番ではないかと思っています

・現在若年層が働く場所、安心して住み続けられる留萌を目指してもらうことが将来高齢者になった時、良い街留萌で暮らせるよう、特に年金の支給に付いて再考願いたい！

・若者が定住できるような仕事がある街作り

・若者の自立を助ける諸制度の充実。

悪質なセールスに対する対策（意見総数 2 件）

・高齢者を狙い、投資や先物取引、健康食品を代引きで送ってくるなど、毎日電話がかかってくる。(しつこいセールス)これが今一番の悩みです。

・困るのは訪問販売です、関所のようなものがあってもいいのでは。

行政や政治家に対する不満（意見総数 2 件）

・利活用する対象者の声を反映させた施策をして欲しい(利用しないでも良い人間が集まって机上論だけの施策は必要ない)

・希望したことができるのですか？とすればいつ頃から実現するのですか？待っていてもよいですか？

・行政の組織は縦割りの為、責任範囲は明確ではあるが、横のつながりがうすいため実際の仕事の出来上がりはギクシャクして期待したものではなく、能率的にも問題が多く市民の不満が多いのが現在の姿です。平たく言うと、手が空いたら自他の区別なく仕事を自分で見つけてよく働いて下さい。

・私は 83 歳になり 1 人暮らしは 5 年になります。こんないい時代に入っている、これからどうしてもらえるのですか。私は今頃何も話をすることはありません。思いやりのない留

萌でしたね。

- ・アンケート等出すのは良いが、あまり実行されていない事が多いと思う。何度書いてもお金の事が先で市として実行されているものがない。
- ・もう少しお年寄りなのでやさしい説明をして頂きたく思います。
- ・誰にでもわかりやすく理解しやすい言葉、説明などしてほしいです。気兼ねなく利用または見学できる様に。
- ・震災復興などで多額の財源が必要なのは承知しているが少ない年金を減額しようとしている。国会議員や市議会議員などの人員を減らしたり、天下り事業をなくしたり、他にもいろいろやり方はあるのに、政治家の考えることは自分の懐の痛まないことばかり、簡単に削れるところから削ると政治家の考え方に怒りを覚える。
- ・国民は全て平等である。国会議員や一部官僚の大企業等に国民の血税を好き勝手に使われてはならない。(スケールの大小に関わらず、当然地方においても同じことが言える。)庶民(国民)が笑顔でいられる社会環境をいち早く作ること。*正直であれ、嘘のない社会を!目指せ。
- ・国の国会議員を減らせ。
- ・弱者を見捨てるな。皆の税金で生活して居るのだから読みやすく、かなを付ける様に受取人の身になって考えて下さい・貴男(女)身近に人居るでしょ。
- ・質問が多すぎる、高齢者一人では、記入できない

その他(意見総数 19 件)

- ・現在は自立していますが、困った時の何でも相談所みたいな所があればと思っています。
- ・仕事をしているため、検診を土、日にしていただきたい
- ・市街地の空店舗、空地などの所有者の実態把握と利活用政策の充実実施。
- ・安楽死を認める事。
- ・(ゆりかごから墓場まで)国で面倒を見るシステムを作る。所得税を増やして。
- ・田舎の所にも目を向けて下さい
- ・不公平のない支援
- ・いじめない事。差別しない事。
- ・高齢者の意見を聞いた施策を考えてほしい。
- ・将来、自分の子どもたちに年金が当たるのが心配です。
- ・高齢化、少子化は将来、十数年以上回復しないと考えます。市の施策の方向を見極めてほしいです。
- ・高齢者もとっても大事だと思いますが留萌は雪国です。子供達はスキー場がない、プールがないと言うのもどんなものでしょうか。施設があるのに次世代を担う大切な宝だと思います。子供達にも生き甲斐をあたえて下さい。
- ・津波対策の充実、堀川町は開発事業部が避難場所ですが、高いとは言えないので、国道

を横切り山地の高台を利用出来るように。独りの生活になっても、子を頼らない生き方が出来るような政策を行って欲しい。

・原発に対する「やらせ」についての内容を個人に知らせてほしい。放射の実際の範囲を知らせ北海道には原発はらない。留萌でも必要についてアンケートを取るべきである。このアンケートには原発のことがなにもない。公報で市民に知らせるべきである。

・北海道には原発はらない。

・国の事は色々と、言いたいことはありますが、今は自分の事でいっばいで、1日1日がんばって生きることです。

・仕事のできる限り頑張ります

・以前から見れば、ずいぶん充実してきたと思いますが、今後ますます高齢者が多くなりますので、より一層充実を期待しています。ありがとうございました。

・市が出来る最大限の努力をお願いします